

転入・転出に関するアンケート調査報告書（詳細版）

（調査期間：平成30年3月から平成30年5月）

平成30年9月

牛久市

経営企画部政策企画課

目次

I	調査の概要	4
II	調査結果（単純集計）	7
1	移動数と世帯当たり平均人数、移動前の地域、移動の時期（県内・県外・国外別、月別）	8
(1)	転入者数と世帯当たり平均人数、転入前の地域、転入の時期	8
(2)	転出者数と世帯当たり平均人数、転出前の地域、転出の時期	9
2	転入前・転出後の地域（県内市町村別・県外都道府県別・国外国別）	10
(1)	転入前の地域	10
(2)	転出後の地域	13
(3)	転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）	16
3	移動の理由（原因者数ベース）	18
(1)	転入理由	18
(2)	転出理由	20
(3)	転入超過数と転出超過数	22
4	移動の世代（原因者数ベース）	23
(1)	転入理由となった方（原因者）の数と世代	23
(2)	転出理由となった方（原因者）の数と世代	24
5	原因者の世代と移動者数（家族込総数ベース）	25
(1)	転入理由となった方の世代と移動者数	25
(2)	転出理由となった方の世代と移動者数	29
(3)	県内・県外の比較	33
6	転入後の地区・転出前の地区	35
(1)	転入後の地区	35
(2)	転出前の地区	36
(3)	転入超過数と転出超過数	37

7	移動後の家族構成（記入者数ベース）	38
(1)	転入後の家族構成	38
(2)	転出後の家族構成	39
(3)	県内と県外の比較	40
8	世帯主の職業（記入者数ベース）	41
(1)	転入者の世帯主の職業	41
(2)	転出者の世帯主の職業	42
(3)	転入超過数と転出超過数	43
9	移動先を選んだ理由（記入者数ベース）	45
(1)	転入先を選んだ理由	45
(2)	転出先を選んだ理由	47
10	自由記述	49
Ⅲ	調査結果（詳細集計）	52
1	近隣市町村間の移動（原因者数ベース）	53
2	就職による県外間移動（原因者数ベース）	54
3	転職による転出（原因者数ベース）	56
4	結婚による移動（原因者数ベース）	58
(1)	県内間移動	58
(2)	県外間移動	60
5	住宅購入による県内間移動（原因者数ベース）	62
6	中古住宅購入による転入（原因者数ベース）	63
7	親との同居・近居による転入（原因者数ベース）	64
(1)	転入理由（親との同居・近居）	64
(2)	転入先選択理由（親兄弟が近くにいる）	65

I . 調査の概要

I. 調査の概要

(1) 調査の目的

牛久市への転入を促進し、転出を抑制するための政策・施策を検討、実践していくにあたり、転入者、転出者の属性や転入転出の理由等を収集・分析し、現状と解決すべき課題を把握するために実施するもの。前回は年度を通じた調査だったが、今回の調査は転入出の数が多い3～5月に調査期間を限定した。

(2) 調査対象者

牛久市に、転入届、または転出届を提出した方

(3) 調査方法

市役所（支所も含む）にて転入届、または転出届を提出した方への任意の無記名アンケート

(4) 調査期間

平成30年3月1日から平成30年5月31日まで

(5) 調査対象数

849人（有効回答者846人）

(6) アンケートで把握された移動者数と実際の移動者数

本アンケートの回収数およびアンケート記載内容により把握された移動者数、人口移動報告により把握している移動者数を比較した。月ごとのばらつきはあるものの、全移動者の約4割強のデータを取得することが出来た。

移動月	転入者数(人)				転出者数(人)			
	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合 (A/B)	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合 (A/B)
平成30年 3月	180	258	561	46.0%	271	336	665	50.5%
平成30年 4月	150	215	469	45.8%	97	136	472	28.8%
平成30年 5月	81	104	302	34.4%	67	87	240	36.3%
合計	411	577	1,332	43.3%	435	559	1,377	40.6%

(7) 使用している用語の定義

本アンケートでは、移動者について、「記入者」「原因者」「同伴者」「家族込総数」といった用語を使い、集計によって使い分けているが、その定義は次の通りである。

「記入者」：アンケートの記入者、窓口でアンケートに回答した方

「原因者」：「転勤」「結婚」など、転入・転出の理由となった方（人数は「記入者」と一致）

「同伴者」：「原因者」に伴って転入・転出した方

「家族込総数」：「原因者数」+「同伴者数」、一緒に移動した世帯人員数

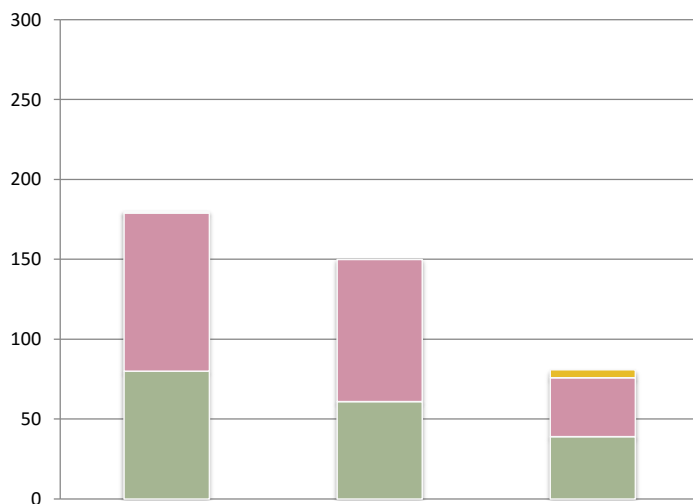
Ⅱ. 調査結果

(単純集計)

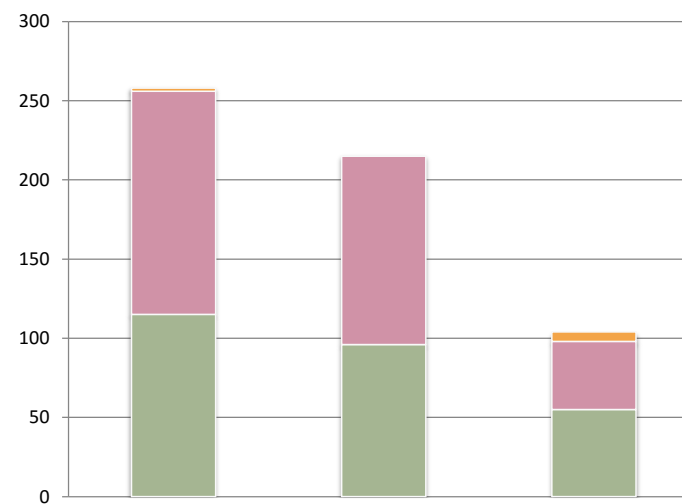
1 移動数と世帯当たり平均人数、移動前の地域、移動の時期（県内・県外・国外別、月別）

(1) 転入者数と世帯当たり平均人数、転入前の地域、転入の時期

- アンケートに回答した方の数（記入者数）は411人で、同伴者を含んだ数（家族込総数）は577人。
- 世帯当たり平均人数(家族込総数/記入者数)は1.29人、地域別では県内(1.48人)、県外(1.35人)、国外(1.25人)の順である。
- 記入者数では、県内からの転入よりも県外からの転入のほうが多く、家族込総数でも県外からの転入のほうが県内からの転入よりも多い。
 （記入者数411人のうち、県内が180人(43.8%)、県外が225人(54.7%)、家族込総数では、県内が266人(46.1%)、県外が303人(52.5%)
- 国外からの転入者は少数である。
 （記入者数6人(1.5%)、家族込総数8人(1.4%)
- 転入時期については、3月が最も多く、4月、5月と続く。
 （記入者数、家族込総数とも同じ傾向）



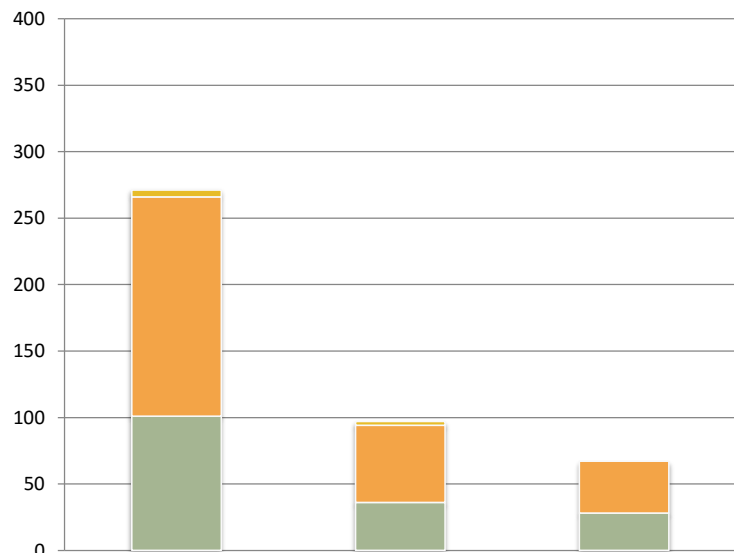
転入	記入者数計 (A)	2018年			世帯当たり平均人数 (B/A)
		3月	4月	5月	
県内	180	80	61	39	1.48
県外	225	99	89	37	
国外	6	1	0	5	
計	411	180	150	81	1.29



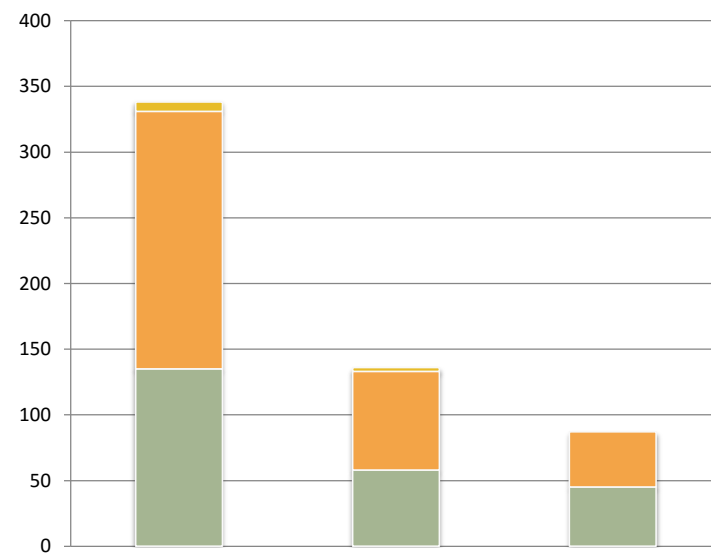
家族込総数計 (B)	2018年			世帯当たり平均人数 (B/A)
	3月	4月	5月	
266	115	96	55	1.48
303	141	119	43	
8	2	0	6	
577	258	215	104	1.29

(2) 転出者数と世帯当たり平均人数、転出前の地域、転出の時期

- アンケートに回答した方の数（記入者数）は、435人で、同伴者を含んだ数（家族込総数）は、561人。
- 世帯当たり平均人数（家族込総数／記入者数）は1.29人、地域別では、県内（1.44人）、国外（1.25人）、県外（1.19人）の順である。
- 記入者数では、県内からの転出よりも県外からの転出のほうが多く、家族込総数でも県内からの転出よりも県外からの転出のほうが多い。
 （記入者435人のうち、県内が165人（37.9%）、県外が262人（60.2%）。家族込では、県内が238人（42.6%）、県外が313人（55.8%）
 ・国外への転出者は少数である。
 （記入者8人（1.8%）、家族込10人（1.8%））
- 転出時期については、3月が最も多く、4月、5月と続く。
 （記入者数、家族込総数とも同じ傾向）



転出	記入者数計（A）	2018年3月	4月	5月
県内	165	101	36	28
県外	262	165	58	39
国外	8	5	3	0
計	435	271	97	67



家族込総数計（B）	2018年3月	4月	5月	世帯当たり平均人数（B/A）
238	135	58	45	1.44
313	196	75	42	1.19
10	7	3	0	1.25
561	338	136	87	1.29

2 転入前・転出後の地域（県内市町村別・県外都道府県別・国外国別）

(1) 転入前の地域

① 記入者数ベース

- ・ 県内からの転入では、上位から〔つくば市〕、〔龍ヶ崎市〕、〔土浦市〕となっており、隣接した3市で4割弱を占める。
（つくば市20.6%、龍ヶ崎市8.9%、土浦市8.9%、合計38.4%）
- ・ 県外からの転入では、〔東京都〕、〔千葉県〕、〔埼玉県〕、〔神奈川県〕と東京圏からの転入で過半数を超える。
（東京都20.4%、千葉県16.0%、埼玉県9.8%、神奈川8.9% 県合計55.1%）
- ・ 国外からの転入では、1位が〔アメリカ〕からで2人、2位に5か国からで1人。

（単位：人）

順位	1	2	2	4	5	6	7	7	7	10	10	12	12	14	14	16	16	16	16	16	16	16	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23				
県内から転入	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	水戸市	取手市	石岡市	阿見町	稲敷市	ひたちなか市	神栖市	つくばみらい市	結城市	日立市	笠間市	かすみがうら市	小美玉市	河内町	下妻市	常総市	鉾田市	美浦村	守谷市	茨城町	大洗町	鹿嶋市	古河市	北茨城市	城里町	大子町	筑西市	那珂市	常陸大宮市	八千代町			
180	37	16	16	15	10	9	7	7	7	6	6	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
割合	20.6%	8.9%	8.9%	8.3%	5.6%	5.0%	3.9%	3.9%	3.9%	3.3%	3.3%	2.8%	2.8%	1.7%	1.7%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%			
順位	1	2	3	4	5	6	7	7	7	10	11	11	11	11	11	16	16	16	16	16	16	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	31	31	31	31	31
県外から転入	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	愛知県	大阪府	福岡県	福島県	北海道	兵庫県	青森県	京都府	滋賀県	静岡県	宮城県	秋田県	大分県	新潟県	広島県	福井県	石川県	岩手県	岡山県	鹿児島県	熊本県	群馬県	栃木県	富山県	山形県	山梨県	沖縄県	香川県	長野県	山口県	和歌山県	
225	46	36	22	20	11	7	6	6	6	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	
割合	20.4%	16.0%	9.8%	8.9%	4.9%	3.1%	2.7%	2.7%	2.7%	2.2%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	
順位	1	2	2	2	2																															
国外から転入	アメリカ	イタリア	オーストラリア	タイ	台湾																															
6	2	1	1	1	1																															
割合	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%																															

(1) 転入前の地域

③ 世帯あたり平均人数（家族込総数／記入者数）

- ・ 転入数（家族込総数ベース）の上位10市町村および上位10都道府県の世帯あたり平均人数を算出した。
- ・ 県内をみると、近隣市町村は世帯あたり平均人数が平均より上回っている傾向となっている。
- ・ 県外では、特徴的な傾向がみられなかった。

（単位：人）

順位	1	2	2	2	5	6	7	8	8	10	
県内転入平均	常総市	茨城町	城里町	結城市	龍ヶ崎市	稲敷市	取手市	かすみがうら市	つくばみらい市	つくば市	
1.48	2.50	2.00	2.00	2.00	1.81	1.71	1.70	1.67	1.67	1.59	
順位	1	2	2	4	5	5	7	7	9	9	9
県外転入平均	群馬県	岩手県	京都府	愛知県	滋賀県	静岡県	大分県	福岡県	神奈川県	熊本県	宮城県
1.35	2.50	2.00	2.00	1.91	1.75	1.75	1.67	1.67	1.50	1.50	1.50

(2) 転出後の地域

① 記入者数ベース

- ・ 県内への転出では、上位から〔つくば市〕、〔龍ヶ崎市〕、〔土浦市〕となっており、隣接した3市で5割強を占める。
(つくば市26.7%、龍ヶ崎市17.6%、土浦市10.9%、合計55.2%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔東京都〕、〔千葉県〕、〔神奈川県〕、〔埼玉県〕となっており、東京圏への転出で約7割を占める。
(東京都29.4%、千葉県21.0%、埼玉県11.8%、神奈川県9.2%、合計71.4%)
- ・ 国外への転出では、1位が〔オーストラリア〕で3人、2位が〔アメリカ〕で2人となっている。

(単位:人)

順位	1	2	3	4	5	5	7	8	9	9	11	11	11	11	11	16	16	16	16	20	20	20	20	20	20						
県内へ転出	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	取手市	阿見町	水戸市	守谷市	石岡市	鹿嶋市	日立市	稲敷市	神栖市	つくばみらい市	ひたちなか市	美浦村	茨城町	笠間市	古河市	下妻市	小美玉市	常総市	利根町	東海村	坂東市	鉾田市						
165	44	29	18	12	7	7	6	5	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1						
割合	26.7%	17.6%	10.9%	7.3%	4.2%	4.2%	3.6%	3.0%	2.4%	2.4%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%						
順位	1	2	3	4	5	5	7	8	8	8	11	12	12	12	12	12	17	17	17	17	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
県外へ転出	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	大阪府	北海道	栃木県	京都府	長野県	宮城県	福島県	滋賀県	静岡県	新潟県	兵庫県	福岡県	青森県	群馬県	福井県	三重県	愛知県	秋田県	岡山県	沖縄県	香川県	鹿児島県	岐阜県	熊本県	島根県	宮崎県	山梨県
262	77	55	31	24	8	8	6	5	5	5	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
割合	29.4%	21.0%	11.8%	9.2%	3.1%	3.1%	2.3%	1.9%	1.9%	1.9%	1.5%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	
順位	1	2	3	3	3																										
国外へ転出	オーストラリア	アメリカ	エクアドル	韓国	タイ																										
8	3	2	1	1	1																										
割合	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%																										

(2) 転出後の地域

② 家族込総数ベース

- ・ 県内への転出では、上位から〔つくば市〕、〔龍ヶ崎市〕、〔土浦市〕となっており、これら3市で6割弱を占める。
(つくば市29.0%、龍ヶ崎市18.1%、土浦市11.3%、合計58.4%)
- ・ 県内への転出では、上位から〔東京都〕、〔千葉県〕、〔神奈川県〕、〔埼玉県〕となっており、東京圏への転出で約7割を占める。
(東京都28.4%、千葉県20.4%、神奈川県10.2%、埼玉県9.6%、合計68.6%)
- ・ 国外への転出では、〔オーストラリア〕、〔タイ〕へ3人となっている。

(単位:人)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	10	10	14	14	14	17	17	17	20	20	20	20	20	20						
県内へ転出	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	取手市	守谷市	石岡市	阿見町	水戸市	美浦村	鹿嶋市	下妻市	つくばみらい市	日立市	稲敷市	神栖市	ひたちなか市	茨城町	笠間市	古河市	小美玉市	常総市	東海村	利根町	坂東市	鉾田市						
238	69	43	27	22	10	9	8	7	6	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1						
割合	29.0%	18.1%	11.3%	9.2%	4.2%	3.8%	3.4%	2.9%	2.5%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.3%	1.3%	1.3%	0.8%	0.8%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%						
順位	1	2	3	4	5	6	6	6	9	9	11	12	13	13	13	13	17	17	17	17	17	17	23	23	23	23	23	23			
県外へ転出	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	北海道	大阪府	長野県	宮城県	京都府	栃木県	福島県	滋賀県	静岡県	新潟県	兵庫県	福岡県	青森県	秋田県	岐阜県	群馬県	福井県	三重県	愛知県	岡山県	沖縄県	香川県	鹿児島県	熊本県	島根県	宮崎県	山梨県
313	89	64	32	30	11	9	9	9	8	8	7	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
割合	28.4%	20.4%	10.2%	9.6%	3.5%	2.9%	2.9%	2.9%	2.6%	2.6%	2.2%	1.3%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	
順位	1	1	3	4	4																										
国外へ転出	オーストラリア	タイ	アメリカ	エクアドル	タイ																										
10	3	3	2	1	1																										
割合	30.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%																										

(2) 転出後の地域

③ 世帯あたり平均人数（家族込総数／記入者数）

- ・ 転出数（家族込総数ベース）の上位10市町村および上位10都道府県の世帯当たり平均人数を算出した。
- ・ 県内をみると、県外全体と比較して世帯当たり平均人数が多い。
- ・ 県外では遠方の都道府県は世帯当たり平均人数が多い。

（下表赤線は平均ライン）

（単位：人）

順位	1	1	3	4	5	6	7	8	9	10
県内転出平均	下妻市	美浦村	取手市	石岡市	守谷市	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	つくばみらい市	阿見町
1.44	2.00	2.00	1.83	1.80	1.67	1.57	1.50	1.48	1.33	1.14
順位	1	1	3	3	5	6	7	8	8	10
県外転出平均	秋田県	岐阜県	長野県	宮城県	福島県	京都府	北海道	滋賀県	栃木県	埼玉県
1.19	2.00	2.00	1.80	1.80	1.75	1.60	1.38	1.33	1.33	1.25

(3) 転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）

① 県内

- ・ 県内の市町村間の転入超過・転出超過の状況は以下の通りである。
- ・ 全体では28人の転入超過であった。
- ・ 転入超過地域をみると、上位から水戸市、結城市、稲敷市、つくばみらい市、神栖市、かすみがうら市と遠方の市町村が中心となっている。
- ・ 転出超過地域をみると、上位から龍ヶ崎市、つくば市、守谷市、取手市、美浦村と近隣市町村が中心となっている。
- ・ 隣接市町村をみると、稲敷市、阿見町では転入超過、つくば市、龍ヶ崎市、土浦市では転出超過である。

(単位:人)

順位	1	2	3	4	5	5	7	7	9	10	10	10	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
転入超過地域	水戸市	結城市	稲敷市	つくばみらい市	神栖市	かすみがうら市	常総市	ひたちなか市	石岡市	小美玉市	笠間市	河内町	城里町	阿見町	大洗町	北茨城市	大子町	筑西市	那珂市	常陸大宮市	日立市	鉾田市	八千代町	合計
人数	16	10	9	6	5	5	4	4	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	80
順位	1	2	3	4	5	5	7	7	9	9	9	9												
転出超過地域	龍ヶ崎市	つくば市	守谷市	取手市	美浦村	鹿嶋市	下妻市	土浦市	古河市	坂東市	利根町	東海村	合計											
人数	14	10	8	5	4	3	2	2	1	1	1	1	52											

転入超過数
28

(3) 転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）

② 県外

- ・ 県外の都道府県間の転入超過・転出超過の状況は以下の通りである。
- ・ 全体では10人の転出超過であった。
- ・ 転入超過地域をみると、愛知県、福岡県、大分県と、遠方の都道府県の転入超過数が多い。
- ・ 転出超過地域をみると、東京都、千葉県、長野県の転出超過数が多い。

東京圏をみると、1都3県すべて転出超過となっている。

順位	1	2	3	4	4	4	7	7	9	9	9	9	9	9	9	16	16	16	16	16	16	16
転入超過地域	愛知県	福岡県	大分県	岩手県	静岡県	広島県	群馬県	滋賀県	青森県	石川県	熊本県	富山県	兵庫県	福井県	山形県	秋田県	岡山県	鹿児島県	山口県	山梨県	和歌山県	合計
人数	20	7	5	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	70
順位	1	2	3	4	5	5	7	7	7	10	10	10										
転出超過地域	東京都	千葉県	長野県	栃木県	北海道	宮城県	神奈川県	岐阜県	三重県	埼玉県	島根県	宮崎県	合計									
人数	27	22	8	6	5	3	2	2	2	1	1	1	80									

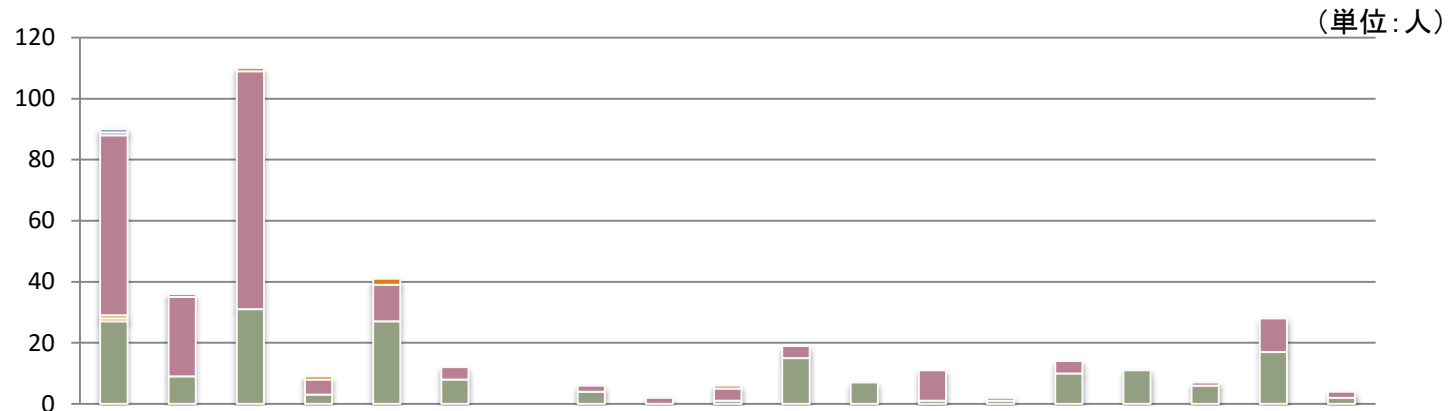
転出超過数	10
-------	----

3 移動の理由（原因者数ベース）

(1) 転入理由

① 県内・県外・国外別

- ・ 転入者全体では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔結婚〕となっており、これらで全体の過半数を占める。
（転勤26.8%、就職20.9%、結婚10.0%、合計57.7%）
- ・ 県内からの転入では、上位から〔転勤〕、〔就職〕・〔結婚〕となっており、これらで全体の5割弱を占める。
（転勤17.2%、就職15.0%、結婚15.0%、合計47.2%）
- ・ 県外からの転入では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔転職(転業)〕これらで全体の7割近くを占める。
（転勤34.7%、就職26.2%、転職(転業)11.6%、合計72.5%）



転入理由	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	原因者数計
県内	27	9	31	3	27	8	0	4	0	1	15	7	1	1	10	11	6	17	2	180
県外	59	26	78	5	12	4	0	2	2	4	4	0	10	1	4	0	1	11	2	225
国外	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
計	86	36	110	9	41	12	0	6	2	6	19	7	11	2	14	11	7	28	4	411

※生活の利便性…買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

(1) 転入理由

② 月別

- ・ 転入理由の1位となっている〔転勤〕は、4月が最も多く、3月が続く。
- ・ 2位の〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 3位の〔結婚〕は、4月が最も多く、3月が続く。

転入時期	原因者数(人)	月別/年間原因者数	転入理由																		
			就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2018年3月	180	43.8%	59	13	36	4	12	7	0	1	1	2	10	2	4	1	7	4	1	13	3
4月	150	36.5%	15	14	59	3	18	4	0	4	1	3	6	3	6	0	2	2	1	8	1
5月	81	19.7%	12	9	15	2	11	1	0	1	0	1	3	2	1	1	5	5	5	7	0
計	411	100.0%	86	36	110	9	41	12	0	6	2	6	19	7	11	2	14	11	7	28	4

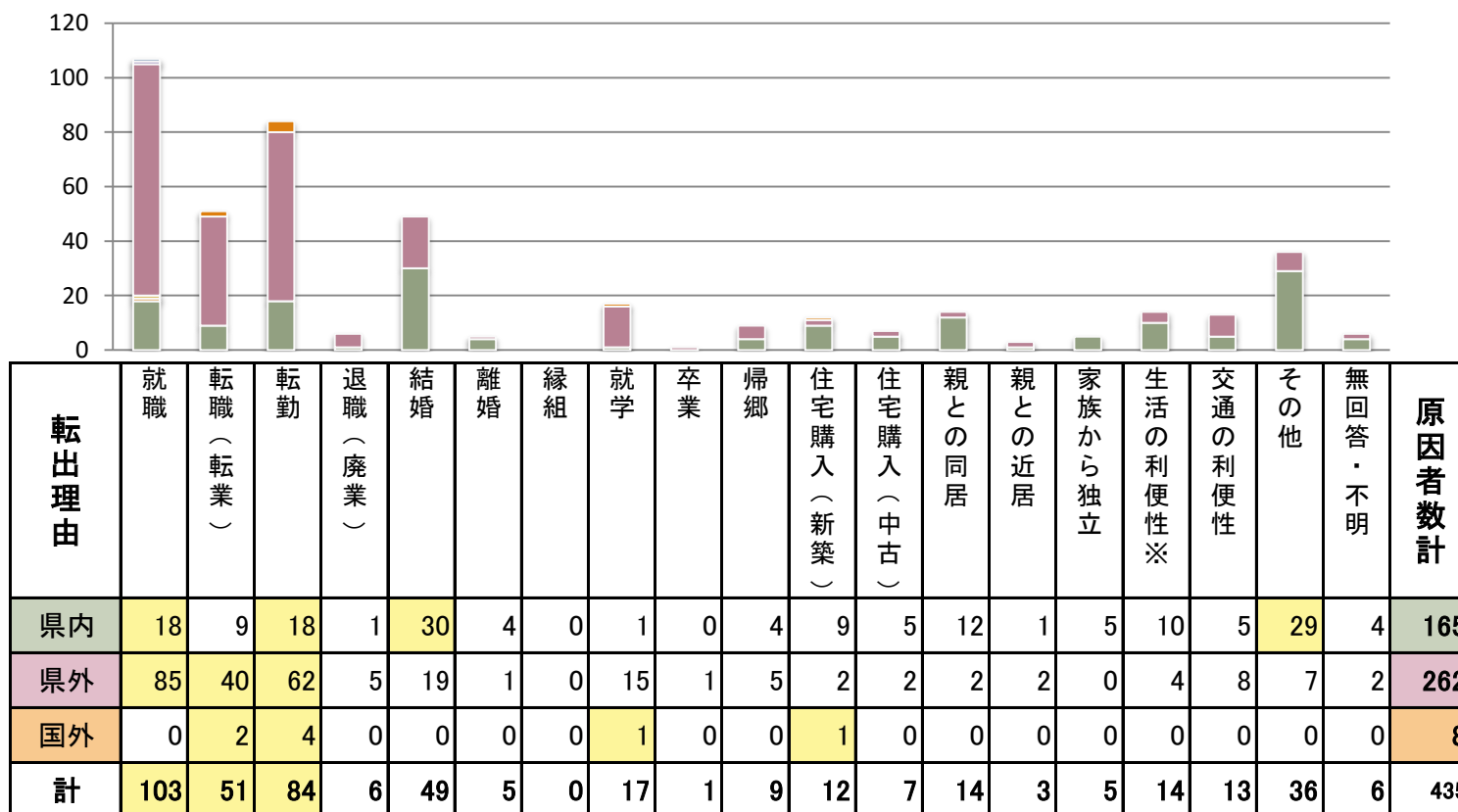
転入時期	原因者数(人)	各月の割合(%)	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2018年3月	180	100.0%	32.8%	7.2%	20.0%	2.2%	6.7%	3.9%	0.0%	0.6%	0.6%	1.1%	5.6%	1.1%	2.2%	0.6%	3.9%	2.2%	0.6%	7.2%	1.7%
4月	150	100.0%	10.0%	9.3%	39.3%	2.0%	12.0%	2.7%	0.0%	2.7%	0.7%	2.0%	4.0%	2.0%	4.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.7%	5.3%	0.7%
5月	81	100.0%	14.8%	11.1%	18.5%	2.5%	13.6%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%	3.7%	2.5%	1.2%	1.2%	6.2%	6.2%	6.2%	8.6%	0.0%
計	411	100.0%	20.9%	8.8%	26.8%	2.2%	10.0%	2.9%	0.0%	1.5%	0.5%	1.5%	4.6%	1.7%	2.7%	0.5%	3.4%	2.7%	1.7%	6.8%	1.0%

(2) 転出理由

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出者全体では、上位から〔就職〕、〔転勤〕、〔転職(転業)〕となっており、これらで全体の過半数を占める。
(就職23.7%、転勤19.3%、転職(転業)11.7%、合計54.7%)
- ・ 県内への転出では、上位から〔結婚〕、〔その他〕、〔就職〕、〔転勤〕となっており、これらで過半数を占める。
(結婚18.2%、その他17.6%、就職は10.9%、転勤は10.9%、合計57.6%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔就職〕、〔転勤〕、〔転職(転業)〕となっており、これらで全体の約7割を占める。
(就職32.4%、転勤23.7%、転職(転業) 15.3%、合計71.4%)

(単位:人)



※生活の利便性・・・買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

(2) 転出理由

② 月別

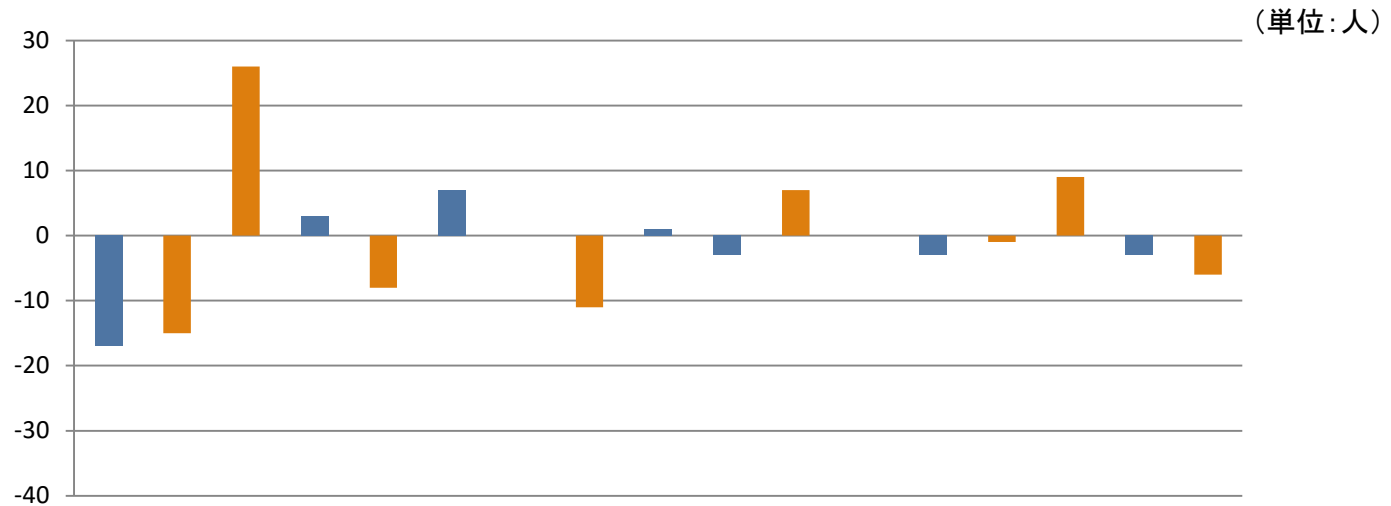
- ・ 転出理由の1位となっている〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 2位の〔転勤〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 3位の〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。

	原因者数(人)	月別/年間原因者数	転入理由																		
			就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2018年3月	271	62.3%	83	25	60	3	23	3	0	14	1	4	5	1	6	1	2	8	4	25	3
4月	97	22.3%	14	14	17	2	14	2	0	2	0	3	3	2	4	1	3	5	3	5	3
5月	67	15.4%	6	12	7	1	12	0	0	1	0	2	4	4	4	1	0	1	6	6	0
計	435	100.0%	103	51	84	6	49	5	0	17	1	9	12	7	14	3	5	14	13	36	6

	原因者数(人)	各月の割合(人)	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2018年3月	271	100.0%	30.6%	9.2%	22.1%	1.1%	8.5%	1.1%	0.0%	5.2%	0.4%	1.5%	1.8%	0.4%	2.2%	0.4%	0.7%	3.0%	1.5%	9.2%	1.1%
4月	97	100.0%	14.4%	14.4%	17.5%	2.1%	14.4%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%	3.1%	3.1%	2.1%	4.1%	1.0%	3.1%	5.2%	3.1%	5.2%	3.1%
5月	67	100.0%	9.0%	17.9%	10.4%	1.5%	17.9%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	3.0%	6.0%	6.0%	1.5%	0.0%	1.5%	9.0%	9.0%	9.0%	0.0%
計	435	100.0%	23.7%	11.7%	19.3%	1.4%	11.3%	1.1%	0.0%	3.9%	0.2%	2.1%	2.8%	1.6%	3.2%	0.7%	1.1%	3.2%	3.0%	8.3%	1.4%

(3) 転入超過数と転出超過数

- ・ 転入超過となっている理由は、上位から〔転勤〕、〔家族からの独立〕、〔離婚〕、〔住宅購入(新築)〕となっている。
- ・ 転出超過となっている理由は、上位から〔就職〕、〔転職(転業)〕、〔就学〕となっている。
- ・ 〔転勤〕が転入超過である一方、〔就職〕では転出超過である。
- ・ 〔離婚〕が転入超過である一方、〔結婚〕では転出超過である。
- ・ 〔家族からの独立〕が転入超過である一方、〔帰郷〕では転出超過である。
- ・ 〔退職(廃業)〕が転入超過である一方、〔就職〕では転出超過である。



移動理由	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族からの独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	原因者数計
牛久市へ転入	86	36	110	9	41	12	0	6	2	6	19	7	11	2	14	11	7	28	4	411
牛久市から転出	103	51	84	6	49	5	0	17	1	9	12	7	14	3	5	14	13	36	6	435
転入・転出の差	-17	-15	26	3	-8	7	0	-11	1	-3	7	0	-3	-1	9	-3	-6	-8	-2	-24

※生活の利便性・・・買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

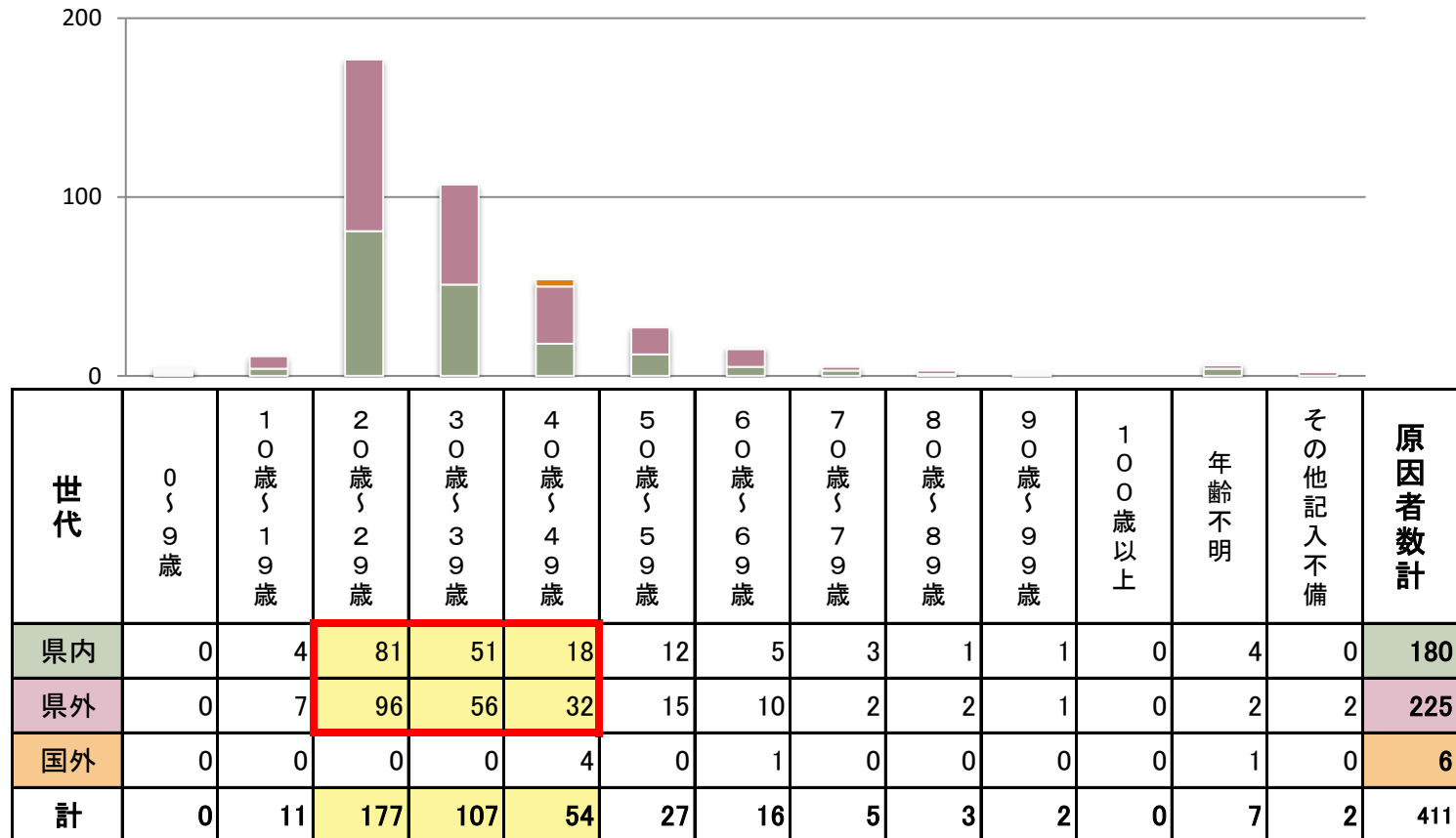
4 移動の世代（原因者数ベース）

(1) 転入理由となった方（原因者）の数と世代

① 県内・県外・国外別

- ・ 転入全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の82.2%を占める。
(20歳代43.1%、30歳代26.0%、40歳代13.1%)
- ・ 県内・県外ともに全体と同様の傾向であり、これらの世代の転入で、県内では83.3%、県外では81.8%を占める。
- ・ 国外については、上位から〔40歳代〕、〔60歳代〕となっている。

(単位:人)

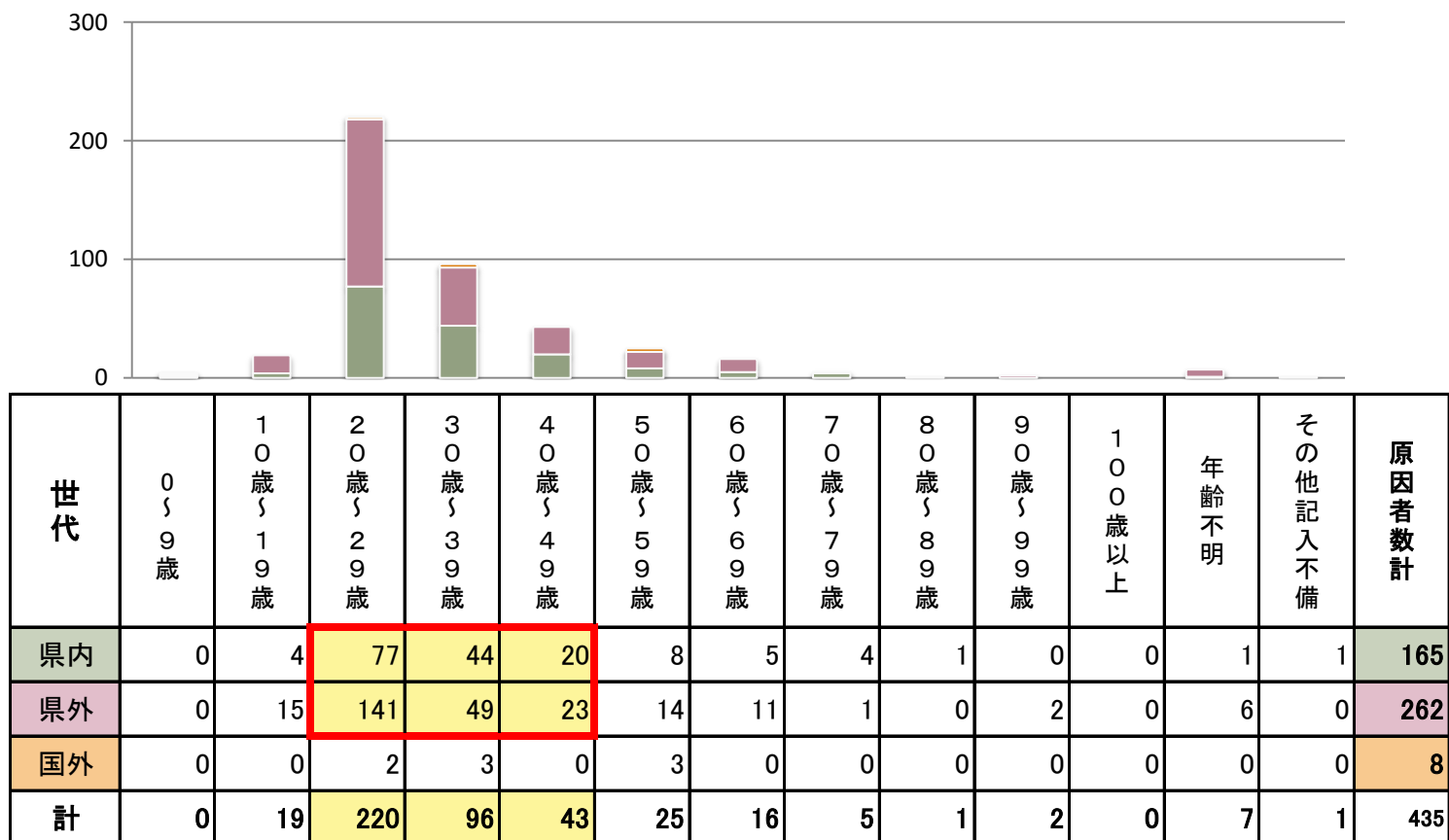


(2) 転出理由となった方（原因者）の数と世代

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の82.5%を占める。
（20歳代50.6%、30歳代22.1%、40歳代9.9%）
- ・ 県内・県外ともに全体と同様の傾向であり、これらの世代の転出で、県内では85.4%、県外では81.3%を占める。
- ・ 国外については、上位から〔30歳代〕・〔50歳代〕、〔20歳代〕となっている。

(単位:人)



5 原因者の世代と移動者数（家族込総数ベース）

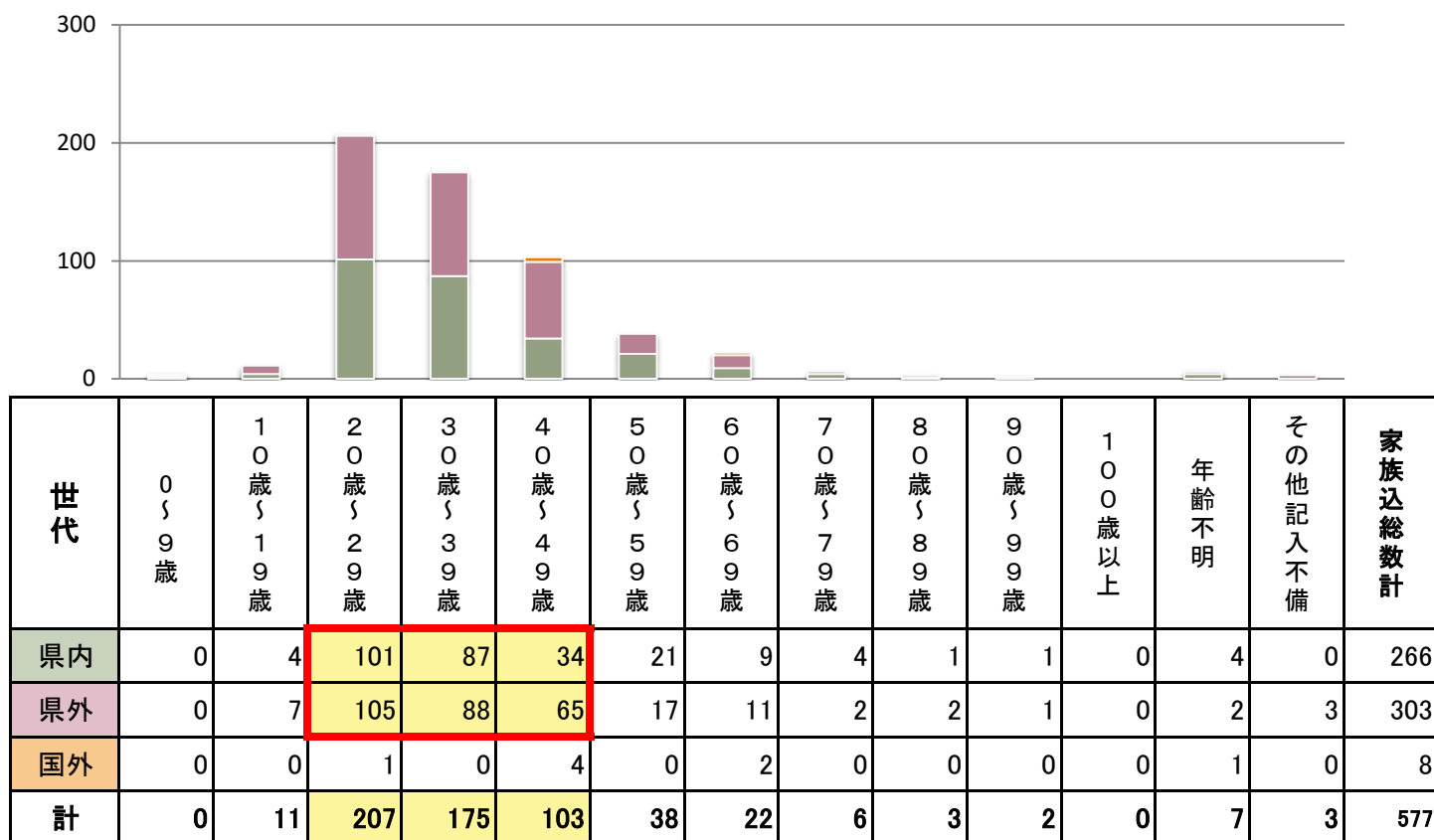
※移動の理由となった方（原因者）とその同伴者数の計を世代ごとにみることで、どの世代の移動の影響が大きいかをみる

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

① 県内・県外・国外別

- ・転入全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の84.1%を占める。
(20歳代35.9%、30歳代30.3%、40歳代17.9%)
- ・原因者数では県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多く、家族込総数でも、県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多い。
国外については、上位から〔40歳代〕、〔60歳代〕、〔20歳代〕となっている。

(単位:人)



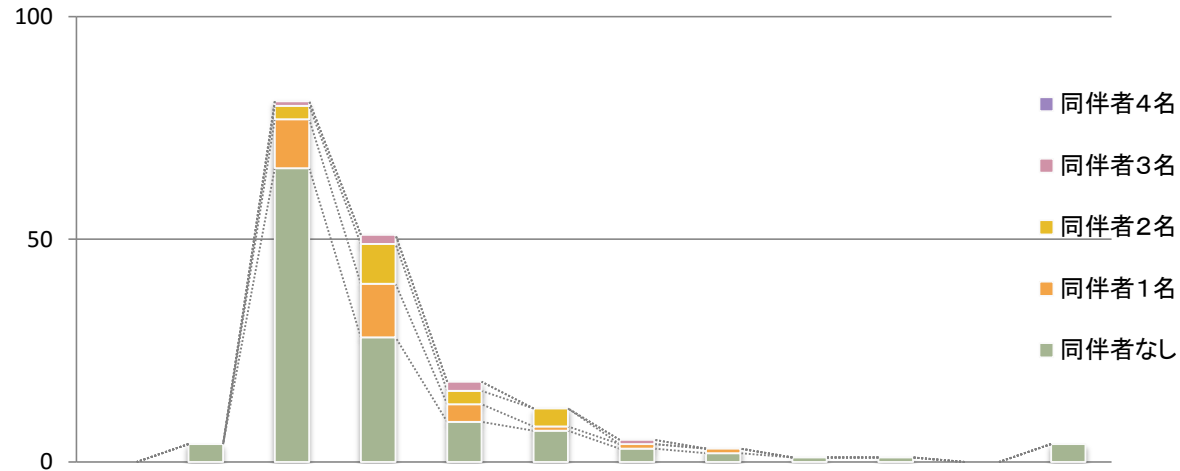
0

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

② 県内

- ・ 以下は、県内からの転入理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
 - ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（69.4%）、次が〔同伴者1名〕
 - ・ 同伴者が多い世代には〔30歳代〕で同伴者の合計は36名、続く〔20歳代〕は20人、〔40歳代〕は16人である。
- 30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転入よりも多くなっている。

(単位:人)



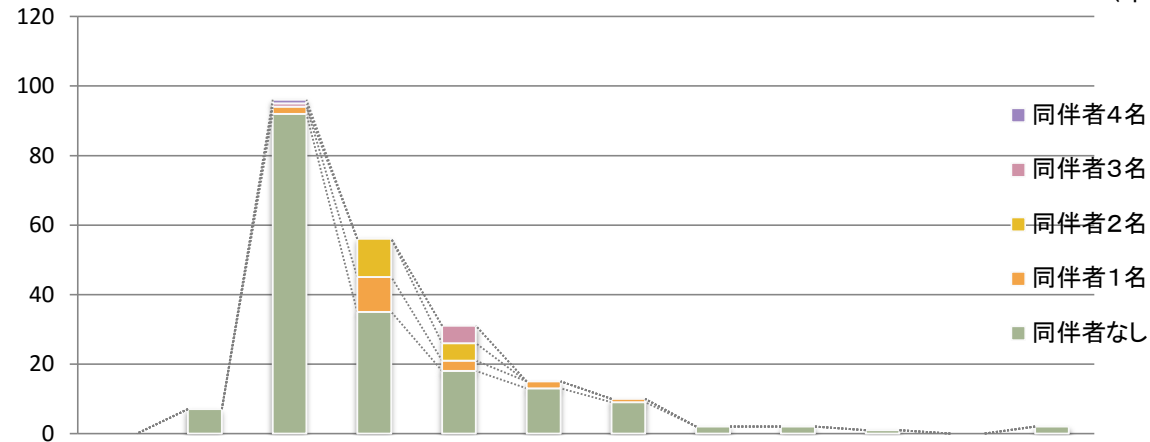
転入理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
	人数		0	4	81	51	18	12	5	3	1	1	0	4	0
一 緒 に 移 動 す る 方 の 人 数	なし	0	4	66	28	9	7	3	2	1	1	0	4	0	125
	1名	0	0	11	12	4	1	1	1	0	0	0	0	0	30
	2名	0	0	3	9	3	4	0	0	0	0	0	0	0	19
	3名	0	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴者数		0	0	20	36	16	9	4	1	0	0	0	0	-	86
家族込総数		0	4	101	87	34	21	9	4	1	1	0	4	0	266

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

③ 県外

- ・ 以下は、県外からの転入理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（80.9%）、次が〔同伴者1名〕
- ・ 同伴者数が最も多い世代は、〔40歳代〕で同伴者の合計は33名、続く〔30歳代〕は32名、〔20歳代〕は9名である。
- ・ 40歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが40歳代の転入よりも多くなっている。

(単位:人)



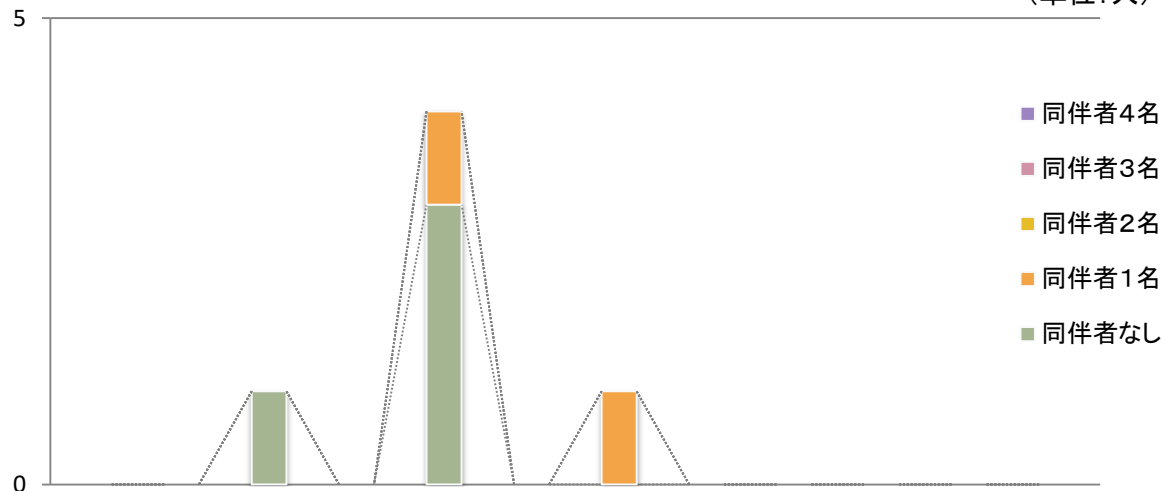
転入理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
	人数		0	7	96	56	32	15	10	2	2	1	0	2	2
一緒に 移動 する 方 の 人 数	なし	0	7	92	35	18	13	9	2	2	1	0	2	1	182
	1名	0	0	2	10	3	2	1	0	0	0	0	0	1	19
	2名	0	0	0	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	3名	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	4名	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5名	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
同伴者数		0	0	9	32	33	2	1	0	0	0	0	0	1	78
家族込総数		0	7	105	88	65	17	11	2	2	1	0	2	3	303

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

④ 国外

- ・ 転入理由となった方（以下原因者という）は、〔40歳代〕が最も多く、次が〔60歳代〕である。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、〔なし（0名）〕が最も多い（66.7%）。
- ・ 同伴者数は、40歳代と60歳代で同数である。

(単位:人)



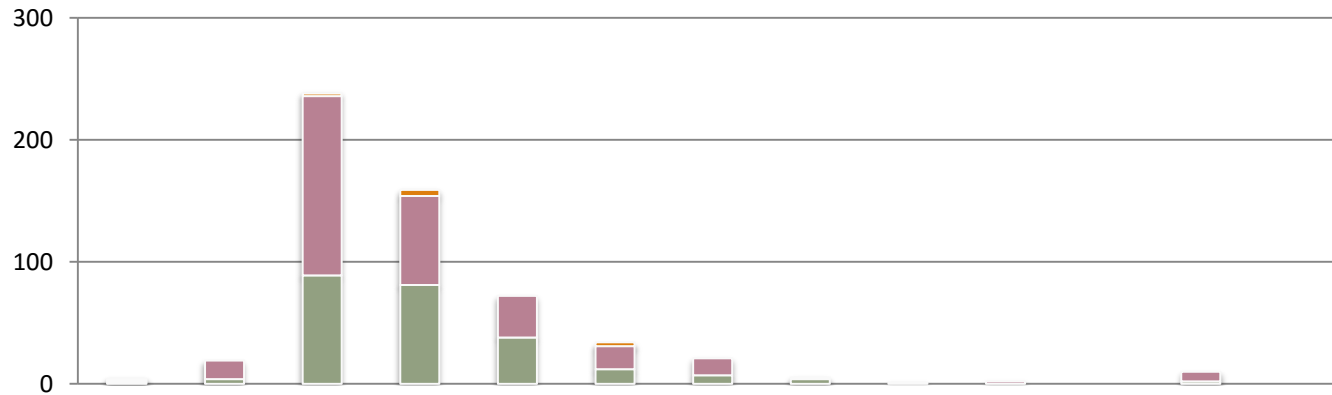
転入理由 となった方	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
	人数	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	1	0	
一緒に移動する 方の人数	なし	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1名	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	2名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴者数		0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	-	2
家族込総数		0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	0	1	0	8

(2) 転出理由となった人の世代と移動者数

① 県内・県外・国外別

- ・転出全体でみると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の83.6%を占める。
(20歳代42.4%、30歳代28.3%、40歳代12.8%)
- ・原因者数では、**県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多く、家族込総数においても、20歳代のほうが30歳代よりも多い。**
- ・国外については、上位から〔30歳代〕、〔50歳代〕、〔20歳代〕となっている。

(単位:人)



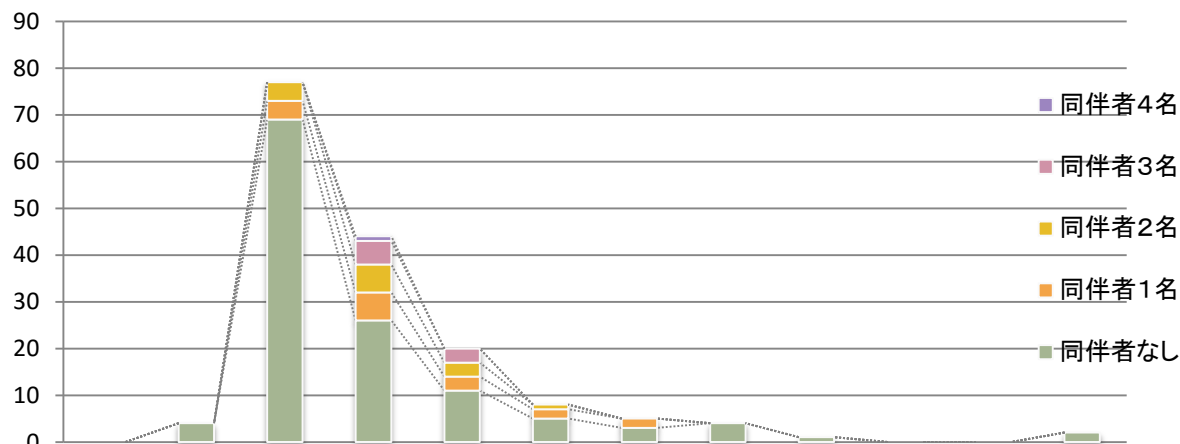
世代	0-9歳	10歳-19歳	20歳-29歳	30歳-39歳	40歳-49歳	50歳-59歳	60歳-69歳	70歳-79歳	80歳-89歳	90歳-99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	家族込総数計
県内	0	4	89	81	38	12	7	4	1	0	0	2	0	238
県外	0	15	147	73	34	19	14	1	0	2	0	8	0	313
国外	0	0	2	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	10
計	0	19	238	159	72	34	21	5	1	2	0	10	0	561

(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

② 県内

- ・ 以下は、県内への転出理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（75.8%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者数が最も多い世代は〔30歳代〕で同伴者の合計は37人、続く〔40歳代〕は18人、〔20歳代〕は12人である。
- ・ 30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転出よりも多くなっている。

（単位：人）



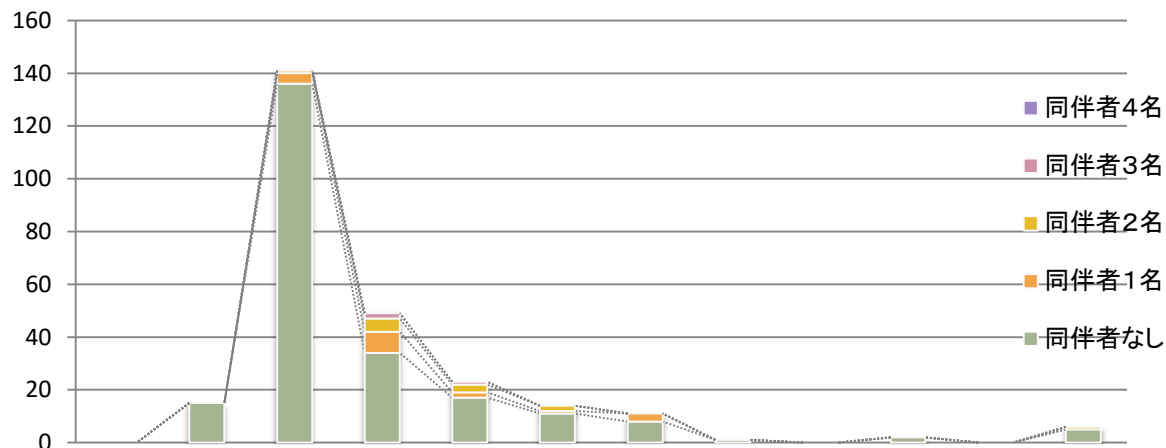
転出理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以 上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
		人数	0	4	77	44	20	8	5	4	1	0	0	2	0
一 緒 に 移 動 す る 方 の 人 数	なし	0	4	69	26	11	5	3	4	1	0	0	2	0	125
	1名	0	0	4	6	3	2	2	0	0	0	0	0	0	17
	2名	0	0	4	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	14
	3名	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	4名	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
同伴者数		0	0	12	37	18	4	2	0	0	0	0	0	0	73
家族込総数		0	4	89	81	38	12	7	4	1	0	0	2	0	238

(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

③ 県外

- ・ 以下は、県外への転出理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（87.4%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者が最も多い世代は、〔30歳代〕で同伴者の合計は24人、続く〔40歳代〕は11人、〔20歳代〕は6人である。
- ・ 30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転出よりも多くなっている。

（単位：人）



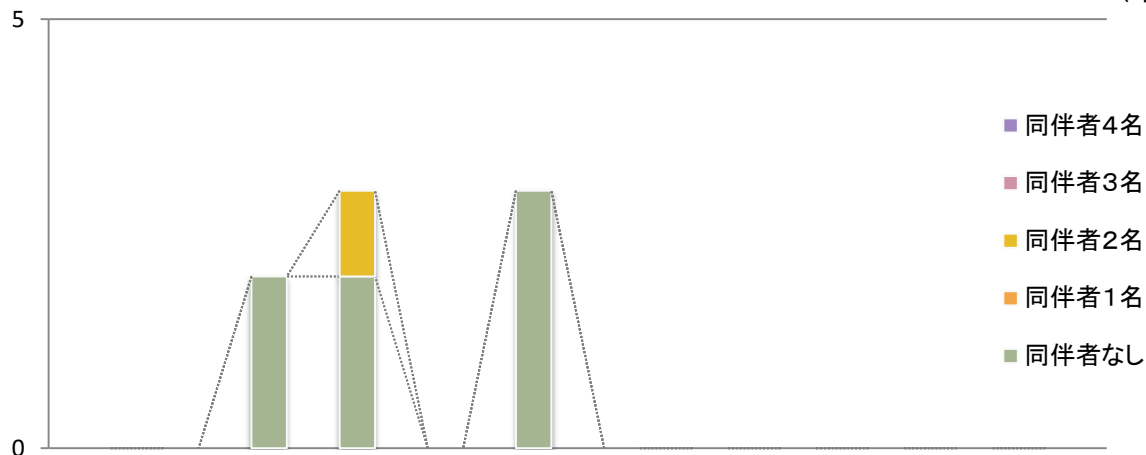
転出理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以 上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
	人数	0	15	141	49	23	14	11	1	0	2	0	6	0	
一 緒 に 移 動 す る 方 の 人 数	なし	0	15	136	34	17	11	8	1	0	2	0	5	0	229
	1名	0	0	4	8	2	1	3	0	0	0	0	0	0	18
	2名	0	0	1	5	3	2	0	0	0	0	0	0	1	12
	3名	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴者数		0	0	6	24	11	5	3	0	0	0	0	2	0	51
家族込総数		0	15	147	73	34	19	14	1	0	2	0	8	0	313

(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

④ 国外

- ・ 転出理由となった方（以下原因者という）は、「30歳代」と「50歳代」が最も多く、次が「20歳代」である。
（30歳代37.5%、50歳代37.5%、20歳代25.0%）
- ・ 一緒に移動する方(以下同伴者という)の有無及び人数については、原因者の年齢に関係なく「なし(0名)」が最も多い。(87.5%)

(単位:人)



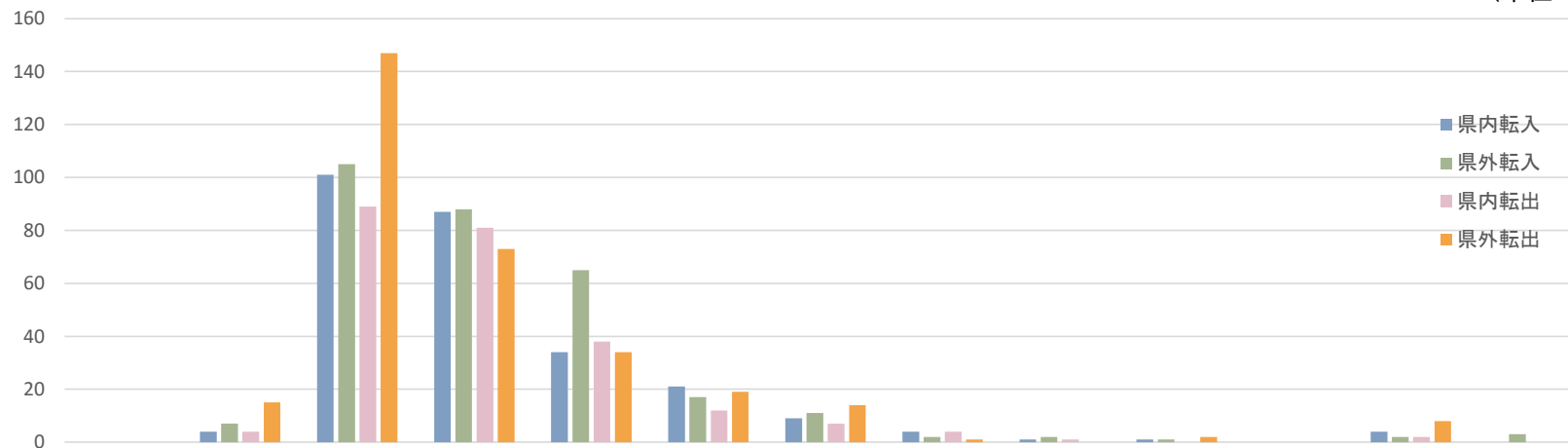
転出理由 となった方	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
	人数	0	0	2	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
一緒に移動する 方の人数	なし	0	0	2	2	0	3	0	0	0	0	0	0	-	7
	1名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
	2名	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
	3名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
同伴者数		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2
家族込総数		0	0	2	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	10

(3) 県内・県外の比較

① 移動者数

- ・ 移動者数の最も多い20歳代は、多い順に〔県外転出〕、〔県外転入〕、〔県内転入〕、〔県内転出〕となっている。
- ・ 移動者数が2番目に多い30歳代では、多い順に〔県外転入〕、〔県内転入〕、〔県内転出〕、〔県外転出〕となっている。
- ・ 移動者数が3番目に多い40歳代では、多い順に〔県外転入〕、〔県内転出〕、〔県内転入〕・〔県外転出〕となっている。

(単位:人)



	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	家族込総数計
転入	県内転入	0	4	101	87	34	21	9	4	1	1	0	4	0	266
	県外転入	0	7	105	88	65	17	11	2	2	1	0	2	3	303
転出	県内転出	0	4	89	81	38	12	7	4	1	0	0	2	0	238
	県外転出	0	15	147	73	34	19	14	1	0	2	0	8	0	313
移動者数計		0	30	442	329	171	69	41	11	4	4	0	16	3	1120

(3) 県内・県外の比較

② 転入超過数と転出超過数

- ・ 県内間、県外間の合計で、転入超過数が最も大きいのは〔40歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔20歳代〕である。
- ・ 県内間で、転入超過数が最も大きいのは〔20歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔40歳代〕である。
- ・ 県外間で、転入超過数が最も大きいのは〔40歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔20歳代〕である。

(単位:人)



世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
合計	0	-8	-30	21	27	7	-1	1	2	0	0	-4	3	18
県内間	0	0	12	6	-4	9	2	0	0	1	0	2	0	28
県外間	0	-8	-42	15	31	-2	-3	1	2	-1	0	-6	3	-10

6 転入後の地区・転出前の地区

(1) 転入後の地区

① 記入者数ベース

- ・転入する地区については、県内、県外の転入において、〔**ひたち野東**〕および〔**ひたち野西**〕が多い。
- ・(ひたち野東10.7%、ひたち野西10.2%、合計20.9%)
- ・上記2地区に次いで、県内からの転入では〔**南**〕、〔**上柏田**〕が多く、県外からの転入では〔**牛久町**〕、〔**中央**〕が多い。

(単位:人)

転入	記入者数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	
県内	180	7	1	1	0	0	6	9	8	1	0	3	1	1	22	19	6	5	14	2	8	16	7	9	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	29
県外	225	20	0	0	0	0	5	5	11	0	0	0	3	1	20	24	7	5	17	9	19	15	7	6	0	0	0	2	0	8	0	0	0	0	0	2	39
国外	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	411	29	1	1	0	0	11	14	19	1	0	3	4	2	42	44	13	10	31	11	27	31	15	16	0	0	0	5	0	8	0	0	0	1	3	69	

② 家族込総数ベース

- ・転入する地区については、県内、県外において、〔**ひたち野東**〕および〔**ひたち野西**〕が多い。
(ひたち野東13.5%、ひたち野西11.1%、合計24.6%)
- ・上記2地区に次いで、県内からの転入では〔**南**〕、〔**上柏田**〕が多く、県外からの転入では〔**牛久町**〕、〔**中央**〕が多い。

(単位:人)

転入	家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	
県内	266	8	1	1	0	0	9	11	12	4	0	3	0	1	34	35	7	6	22	2	10	25	11	13	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	1	43
県外	303	24	0	0	0	0	7	8	19	0	0	0	3	1	30	42	7	5	18	11	22	20	15	6	0	0	0	2	0	9	0	0	0	0	0	2	52
国外	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	577	35	1	1	0	0	16	19	31	4	0	3	3	2	64	78	14	11	40	13	32	45	27	20	0	0	0	7	0	9	0	0	0	2	3	97	

(2) 転出前の地区

① 記入者数ベース

- ・ 転出前の地区について、全体では〔上柏田〕、〔牛久町〕、〔南〕がほぼ同数が多い。
(上柏田10.3%、牛久町9.4%、南9.2%、合計28.9%)
- ・ 県内への転出では、〔上柏田〕、〔田宮町〕が、県外への転出では、〔南〕、〔牛久町〕、〔ひたち野東〕が多い。

(単位:人)

	記入者数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	165	15	3	0	1	0	6	18	7	0	0	1	3	0	14	10	4	5	19	6	5	11	6	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	25
県外	262	26	0	0	2	0	10	14	5	1	0	0	2	0	15	26	4	4	25	8	16	27	13	13	1	0	0	2	0	8	0	0	1	0	1	38
国外	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	435	41	3	0	3	0	16	32	12	1	0	1	5	0	30	37	8	9	45	14	21	40	19	19	1	0	0	3	0	9	0	0	1	0	1	64

② 家族込総数ベース

- ・ 転出前の地区について、全体では〔上柏田〕、〔ひたち野東〕、〔南〕の順に多い。
(上柏田11.6%、ひたち野東9.3%、南8.4%、合計29.3%)
- ・ 県内への転出では〔上柏田〕、〔田宮町〕が、県外への転出では〔ひたち野東〕、〔牛久町〕、〔上柏田〕が多い。

(単位:人)

	家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	238	18	8	0	1	0	10	19	10	0	0	1	3	0	18	13	7	7	33	7	6	18	8	4	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	44
県外	313	31	0	0	2	0	12	19	5	2	0	0	4	0	15	38	4	6	31	8	22	27	13	14	1	0	0	2	0	9	0	0	1	0	1	46
国外	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	561		8	0	3	0	22	38	15	2	0	1	7	0	34	52	11	13	65	15	28	47	21	22	1	0	0	3	0	11	0	0	1	0	1	91

(3) 転入超過数と転出超過数

- ・新市街地の転入超過が大きく、旧市街地の転出超過が多い傾向があるが、〔田宮〕、〔神谷〕、〔中央〕など、旧市街地にも転入超過地区がみられる。

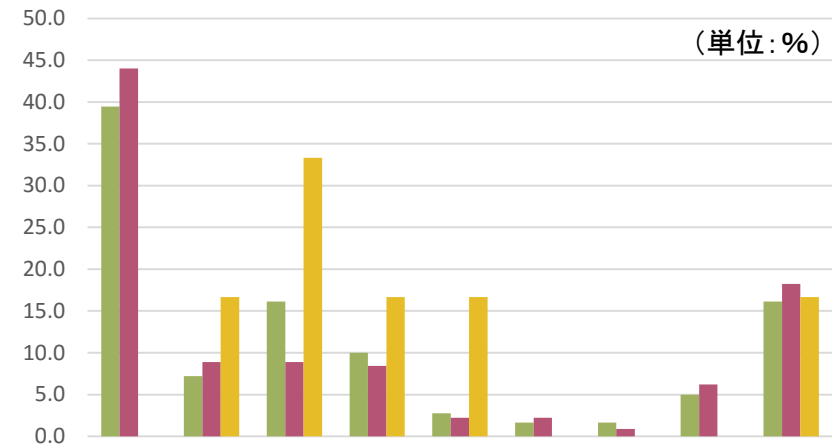
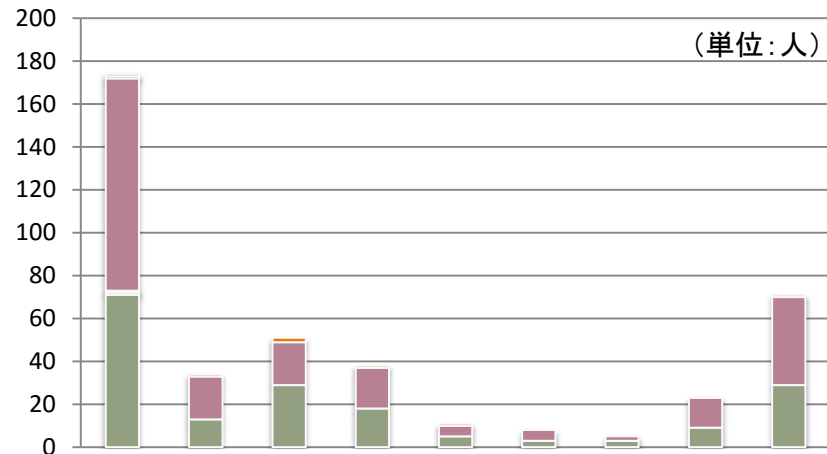
(単位:人)

		家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結東町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	
県内	転入	266	8	1	1	0	0	9	11	12	4	0	3	0	1	34	35	7	6	22	2	10	25	11	13	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2	1	43	
	転出	238	18	8	0	1	0	10	19	10	0	0	1	3	0	18	13	7	7	33	7	6	18	8	4	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	44
	差	28	-10	-17	1	-1	0	-1	-8	2	4	0	2	-3	1	16	22	0	-1	-11	-5	4	7	3	9	0	0	0	4	0	-2	0	0	0	2	1	-1	
県外	転入	303	24	0	0	0	0	7	8	19	0	0	0	3	1	30	42	7	5	18	11	22	20	15	6	0	0	0	2	0	9	0	0	0	0	2	52	
	転出	313	31	0	0	2	0	12	19	5	2	0	0	4	0	15	38	4	6	31	8	22	27	13	14	1	0	0	2	0	9	0	0	1	0	1	46	
	差	-10	-7	0	0	-2	0	-5	-11	14	-2	0	0	-1	1	15	4	3	-1	-13	3	0	-7	2	-8	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	1	6	
国外	転入	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	転出	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	差	-2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-1	0	0	-2	1	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	転入	577	35	1	1	0	0	16	19	31	4	0	3	3	2	64	78	14	11	40	13	32	45	27	20	0	0	0	7	0	9	0	0	0	2	3	97	
	転出	561	49	18	0	3	0	22	38	15	2	0	1	7	0	34	52	11	13	65	15	28	47	21	22	1	0	0	3	0	11	0	0	1	0	1	91	
	差	16	-14	-17	1	-3	0	-6	-19	16	2	0	2	-4	2	30	26	3	-2	-25	-2	4	-2	6	-2	-1	0	0	4	0	-2	0	0	-1	2	2	6	

7 移動後の家族構成（記入者数ベース）

(1) 転入後の家族構成

- ・ 転入後の家族構成については、上位から〔一人暮らし〕、〔無回答・不明〕、〔夫婦が同居〕となっている。
- ・ (一人暮らし41.4%、無回答・不明17.3%、夫婦が同居12.4%)
- ・ 転入後、〔一人暮らし〕の割合は、県外への転出のほうが、県内への転出よりも高い。(県内からの転入39.4%、県外からの転入44.0%)
- ・ 転入後、〔夫婦が同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外への転出よりも高い。(県内からの転入16.1%、県外からの転入8.9%)
- ・ 転入後、〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内からの転入のほうが、県外からの転入よりも高い。(県内からの転入10.0%、県外からの転入8.4%)
- ・ 県外からの転入では、〔親と独身の子が同居〕の割合が県内からの転入と比較して高い。(県内からの転入7.2%、県外からの転入8.9%)

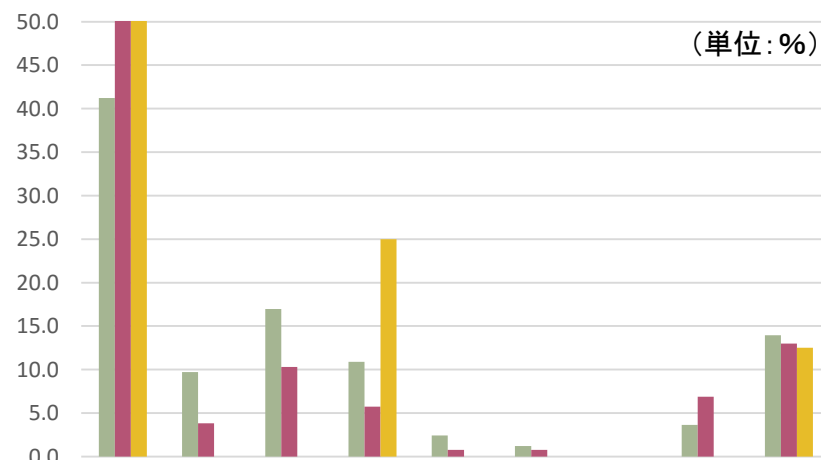
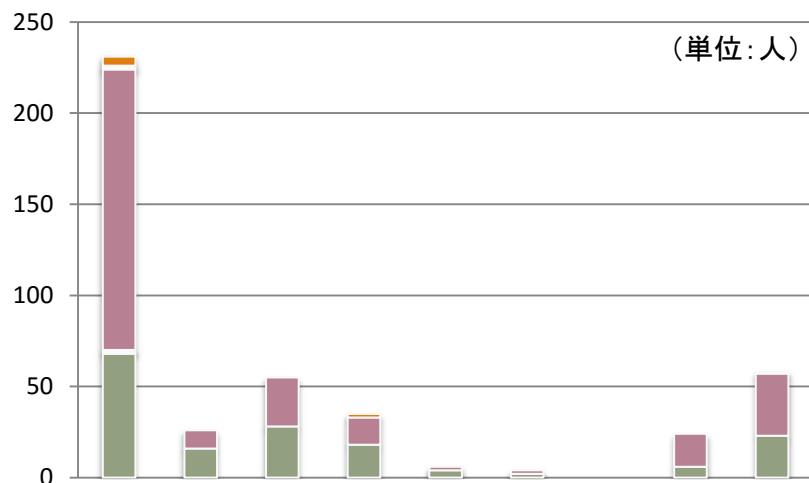


家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	71	13	29	18	5	3	3	9	29	180
県外	99	20	20	19	5	5	2	14	41	225
国外	0	1	2	1	1	0	0	0	1	6
計	170	34	51	38	11	8	5	23	71	411

家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	計
県内	39.4	7.2	16.1	10.0	2.8	1.7	1.7	5.0	16.1	100.0
県外	44.0	8.9	8.9	8.4	2.2	2.2	0.9	6.2	18.2	100.0
国外	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	100.0
計	41.4	8.3	12.4	9.2	2.7	1.9	1.2	5.6	17.3	100.0

(2) 転出後の家族構成

- ・ 転出後の家族構成については、上位から〔一人暮らし〕、〔無回答・不明〕、〔夫婦が同居〕となっている。
 (一人暮らし52.2%、無回答・不明が13.3%、夫婦が同居12.6%)
- ・ 転出後、〔一人暮らし〕の割合は、県外への転出のほうが、県内への転出よりも高い。(県外への転出58.8%、県内への転出41.2%)
- ・ 転出後、〔夫婦が同居〕の割合は、県内への転出が最も高い。(県内への転出17.0%、県外への転出10.3%)
- ・ 転出後、〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外への転出よりも高い。(県内への転出10.9%、県外への転出5.7%)

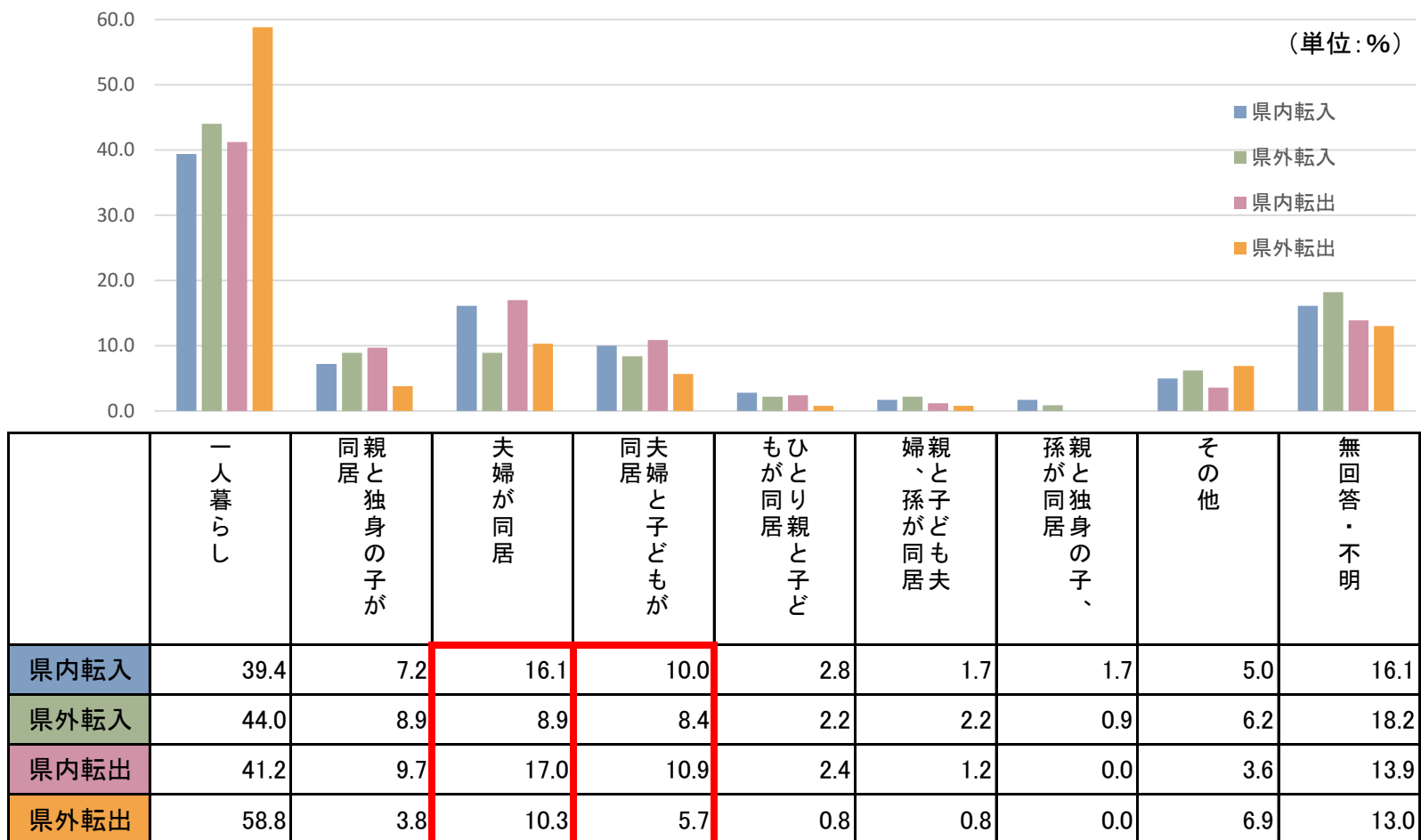


家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	68	16	28	18	4	2	0	6	23	165
県外	154	10	27	15	2	2	0	18	34	262
国外	5	0	0	2	0	0	0	0	1	8
計	227	26	55	35	6	4	0	24	58	435

家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	計
県内	41.2	9.7	17.0	10.9	2.4	1.2	0.0	3.6	13.9	100.0
県外	58.8	3.8	10.3	5.7	0.8	0.8	0.0	6.9	13.0	100.0
国外	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	100.0
計	52.2	6.0	12.6	8.0	1.4	0.9	0.0	5.5	13.3	100.0

(3) 県内と県外の比較

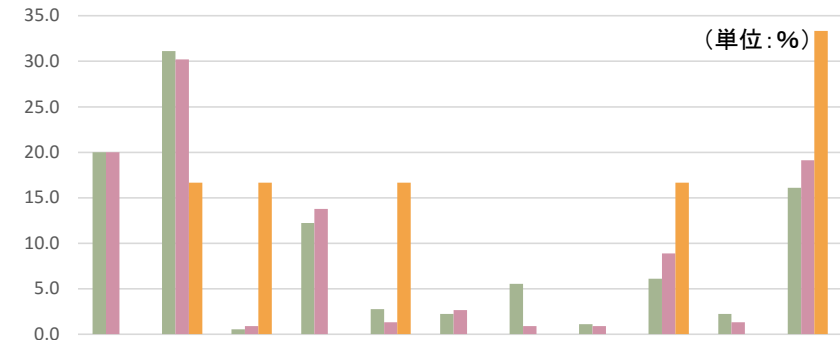
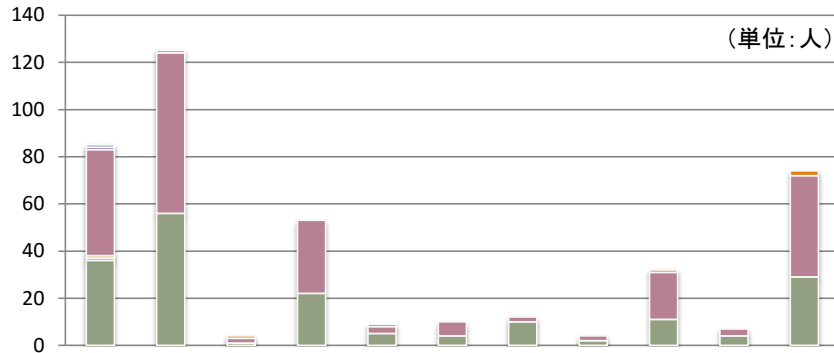
- ・ 移動後に〔一人暮らし〕の割合は、転入・転出、県内・県外全ての区分において最も高いが、県外間移動（特に転出）でより高い傾向がある。
- ・ 移動後に〔夫婦が同居〕の割合は、県内間移動のほうが県外間移動よりも高く、県内への転出のほうが県内からの転入よりも高い。
- ・ 移動後に〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内間移動のほうが県外間移動よりも高く、県内転入よりも県内転出のほうが高い。



8 世帯主の職業（記入者数ベース）

(1) 転入者の世帯主の職業

- ・ 転入者の世帯主の職業については、上位から〔会社員（市外勤務）〕、〔会社員（市内勤務）〕、〔無回答・不明〕となっている。
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、県内・県外ともに同じ割合となっている。
 （県内からの転入者20.0%、県外からの転入者20.0%）
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、県内からの転入者のほうが、県外からの転入者よりも高い。
 （県内からの転入者31.1%、県外からの転入者30.2%）

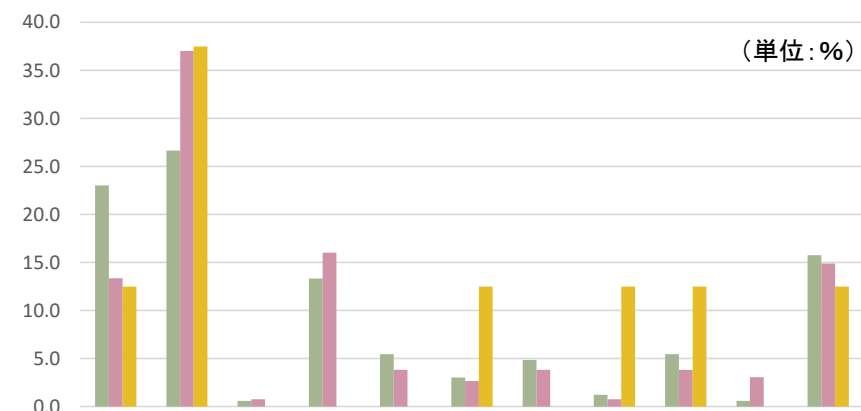
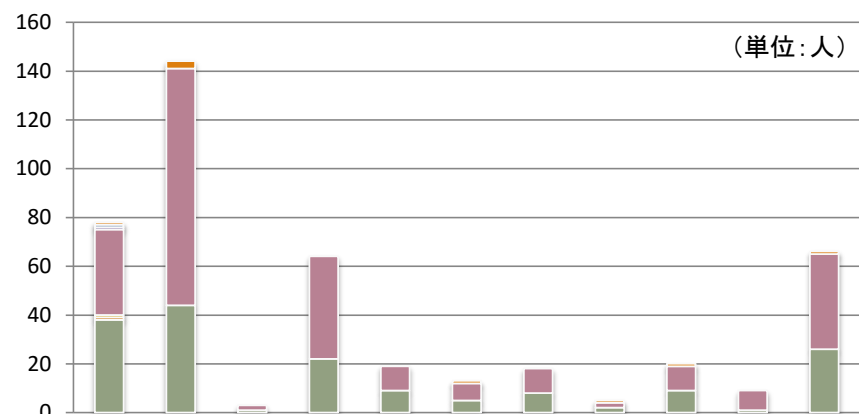


世帯主職業	(単位:人)											記入者数計
	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
県内	36	56	1	22	5	4	10	2	11	4	29	180
県外	45	68	2	31	3	6	2	2	20	3	43	225
国外	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	6
計	81	125	4	53	9	10	12	4	32	7	74	411

世帯主職業	(単位:%)											計
	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
県内	20.0	31.1	0.6	12.2	2.8	2.2	5.6	1.1	6.1	2.2	16.1	100.0
県外	20.0	30.2	0.9	13.8	1.3	2.7	0.9	0.9	8.9	1.3	19.1	100.0
国外	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	100.0
計	19.7	30.4	1.0	12.9	2.2	2.4	2.9	1.0	7.8	1.7	18.0	100.0

(2) 転出者の世帯主の職業

- ・ 転出者の世帯主の職業は、〔会社員（市外勤務）〕が最も多く、〔会社員（市内勤務）〕、〔無回答・不明〕が続く。
- ・ 〔会社員（市内勤務）〕の割合は、県内への転出者のほうが、県外への転出者よりも高い。
- ・ 〔県内への転出者23.0%、県外への転出者13.4%〕
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、県内への転出者よりも、県外への転出者のほうが高い。
（県内への転出者26.7%、県外への転出者37.0%）



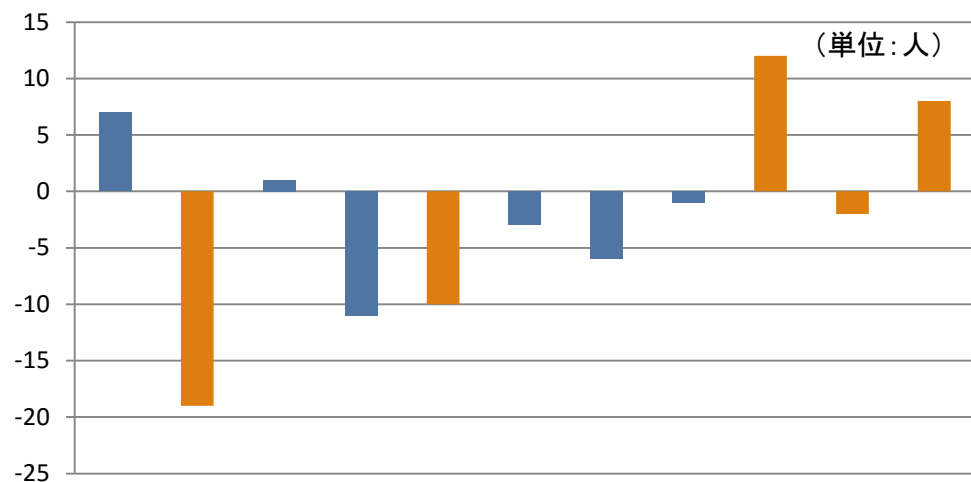
世帯主職業	記入者数計											
	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
県内	38	44	1	22	9	5	8	2	9	1	26	165
県外	35	97	2	42	10	7	10	2	10	8	39	262
国外	1	3	0	0	0	1	0	1	1	0	1	8
計	74	144	3	64	19	13	18	5	20	9	66	435

世帯主職業	割合 (%)											
	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	計
県内	23.0	26.7	0.6	13.3	5.5	3.0	4.8	1.2	5.5	0.6	15.8	100.0
県外	13.4	37.0	0.8	16.0	3.8	2.7	3.8	0.8	3.8	3.1	14.9	100.0
国外	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	100.0
計	17.0	33.1	0.7	14.7	4.4	3.0	4.1	1.1	4.6	2.1	15.2	100.0

(3) 転入超過数と転出超過数

① 全体

- ・ 記入者数ベースでは、全体で24人の転出超過である。
- ・ 転出超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 転入超過が最も大きいのは、〔無職〕で、〔会社員（市内勤務）〕が続く。

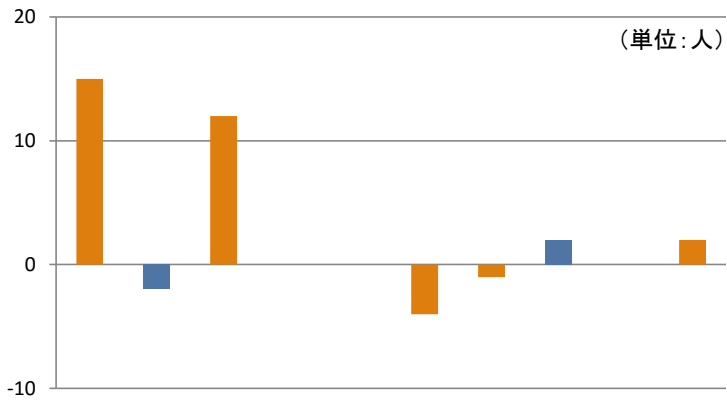


世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計
転入	81	125	4	53	9	10	12	4	32	7	74	411
転出	74	144	3	64	19	13	18	5	20	9	66	435
差	7	-19	1	-11	-10	-3	-6	-1	12	-2	8	-24

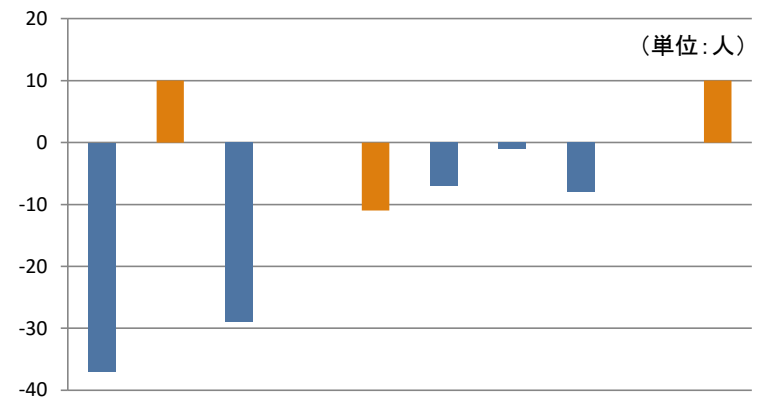
(3) 転入超過数と転出超過数

② 県内および県外

- ・ 記入者数ベースでは、県内で15人の転入超過、県外で37人の転出超過である。
- ・ 県内で転入超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、次いで〔パート・アルバイト〕・〔無職〕が同数となっている。
- ・ 県外で転入超過が最も大きいのは、〔会社員（市内勤務）〕・〔無職〕が同数となっている。
- ・ 県内で転出超過が最も大きいのは、〔自営業〕で、〔会社員（市内勤務）〕が続く。
- ・ 県外で転出超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 県内の移動において、市外勤務の会社員が転入超過であるのに対し、市内勤務の会社員が転出超過であることが、特徴的である。



世帯主職業	県内												
	合計	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
転入	180	36	56	1	22	5	4	10	2	11	4	29	
転出	165	38	44	1	22	9	5	8	2	9	1	26	
差	15	-2	12	0	0	-4	-1	2	0	2			



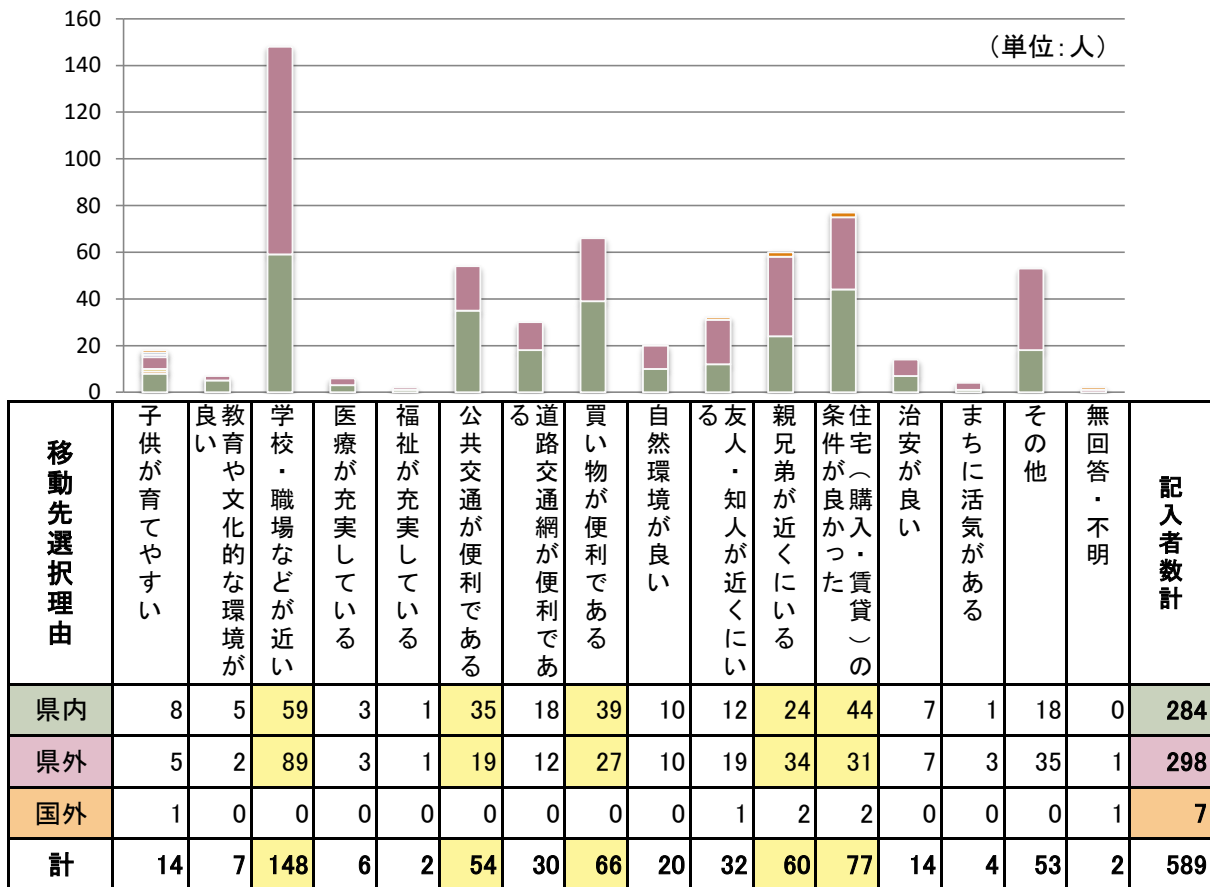
世帯主職業	県外												
	合計	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
転入	225	45	68	2	31	3	6	2	2	20	3	43	
転出	262	35	97	2	42	10	7	10	2	10	8	39	
差	-37	10	-29	0	-11	-7	-1	-8	0	10			

9 移動先を選んだ理由（記入者数ベース）

(1) 転入先を選んだ理由

① 県内・県外・国外別

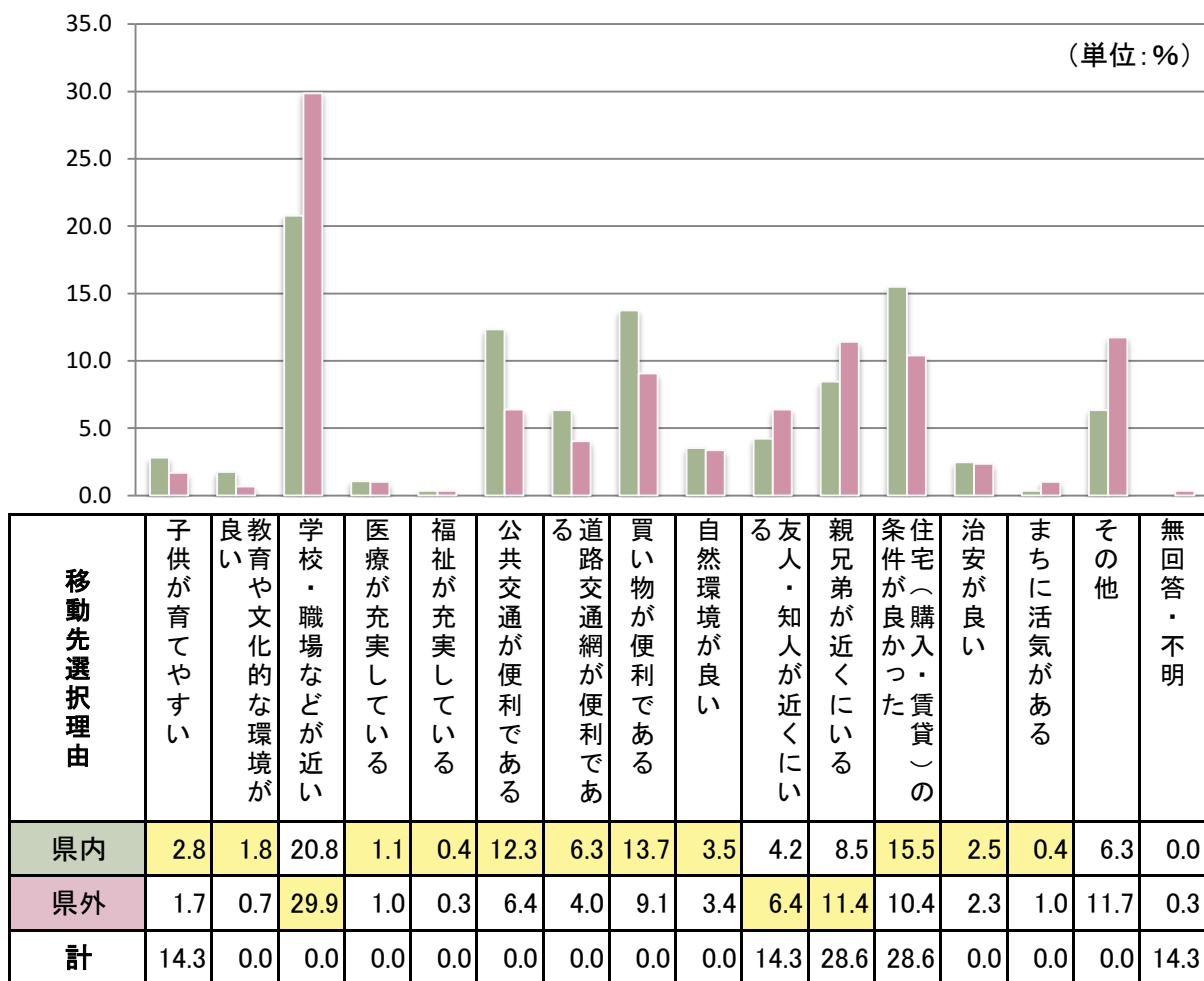
- ・本市を転入先にした理由は、上位から〔学校・職場などが近い〕、〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、〔買い物に便利である〕となっている。
- ・県内からの転入者、県外からの転入者ともに、1位は〔学校・職場などが近い〕である。
- ・県内からの転入者の2位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕3位は〔買い物に便利である〕、4位〔公共交通が便利である〕、5位〔親兄弟が近くにいる〕である。
- ・県外からの転入者の2位は〔親兄弟が近くにいる〕、3位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、4位〔買い物に便利である〕、5位〔公共交通が便利である〕である。



(1) 転入先を選んだ理由

② 県内と県外の比較

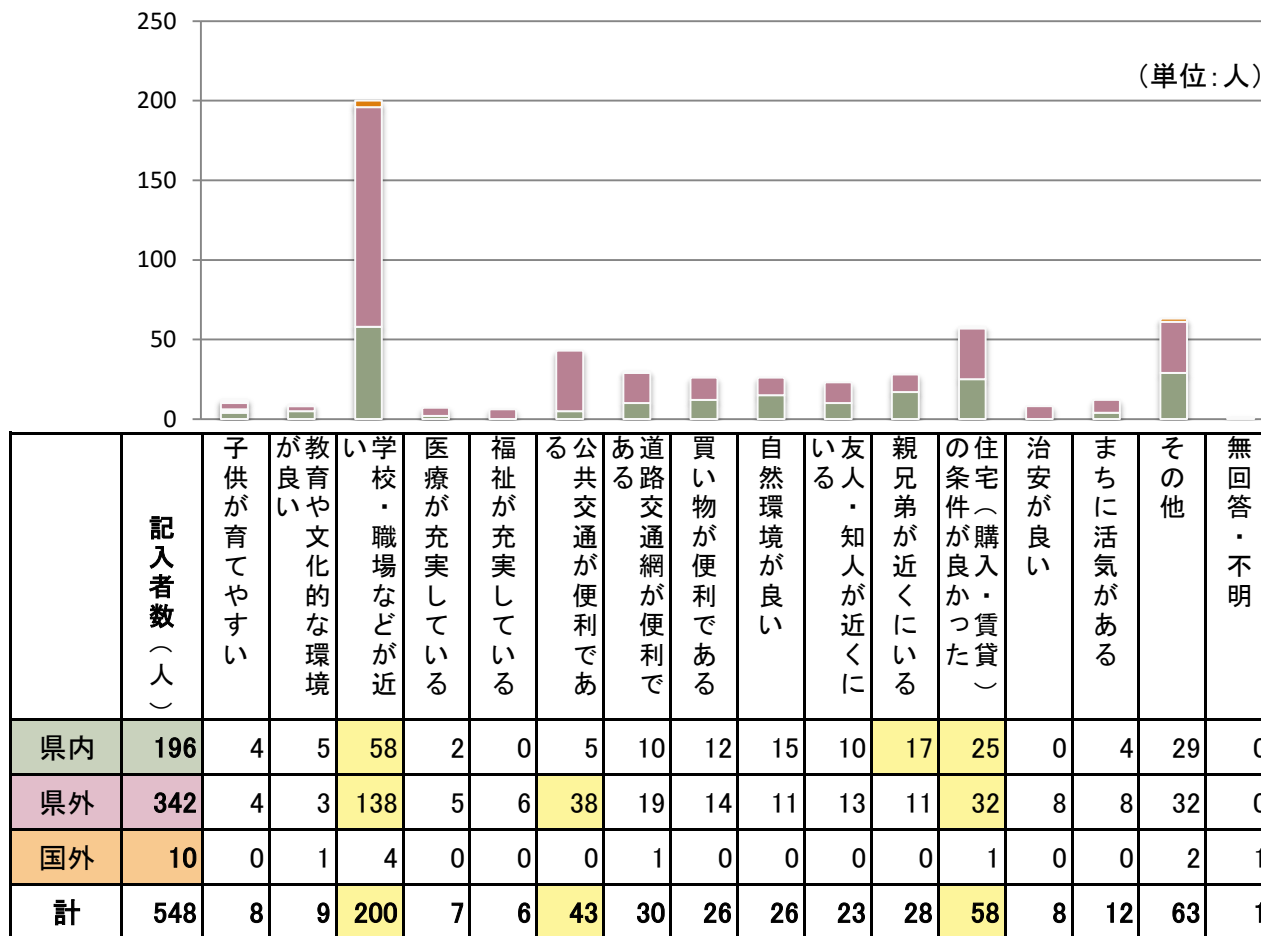
- ・ 県内からの転入者と、県外からの転入者の本市の選択理由を比較する。
- ・ 県外からの転入者は、県内からの転入者よりも、〔学校・職場などの距離〕、〔親兄弟との距離〕、〔友人・知人との距離〕に関することを選択理由とした割合が高い。
- ・ 県内からの転入者は、県外からの転入者よりも、〔住宅の条件〕、〔公共交通の利便性〕、〔買い物の利便性〕に関することを選択理由とした割合が高い。
- ・ 県外からの転入者は、転職や就職を動機とした移動で、距離を重視した選択をする方が多いと考えられる。
 県内からの転入者は、結婚や住宅購入を動機とした移動で、比較的時間をかけて移動後の生活を重視した選択をする方が多いと考えられる。



(2) 転出先を選んだ理由

① 県内・県外・国外別

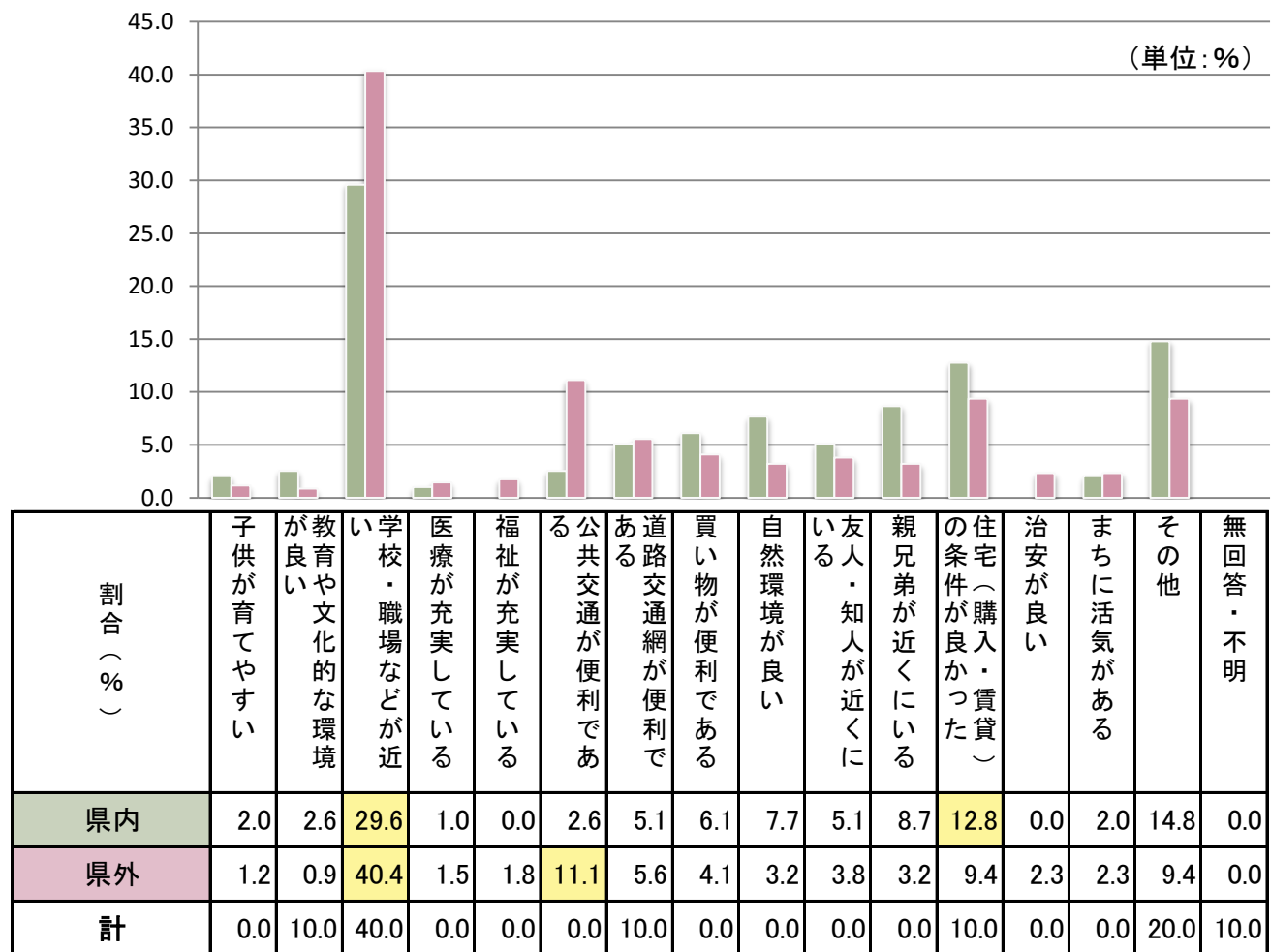
- ・ 転出先を選んだ理由は、上位から〔学校・職場などが近い〕が最も多く、〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、〔公共交通が便利である〕となっている。
- ・ 県内への転出者・県外への転出者ともに、1位は〔学校・職場などが近い〕である。
- ・ 県内への転出者の2位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、3位は〔親・兄弟が近くにいる〕である。
- ・ 県外への転出者の2位は〔公共交通が便利である〕、3位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕である。



(2) 転出先を選んだ理由

② 県内と県外の比較

- ・ 県内への転出者は、「学校職場などの距離」、「住宅の条件」を重視している。
- ・ 県外への転出者は、「学校職場などの距離」、「公共交通の利便性」を重視している。
- ・ 県外への転出者は東京圏への移動が多いことから、勤務地や学校へのアクセス重視で転出先を選択していると考えられる。



10 自由記述

① 転入

近年ひたち野うしく駅周辺の北部市街地の活気ばかり目立つので南部市街地へのテコ入れをしてほしい、生活保護者所得<労働者所得
牛久のかっぱ祭りが大好きです。牛久のイベントが増えたら嬉しいです。
住民税をもっと安くしてほしい。
のどかな環境で子育てできるのが楽しみです。できれば、電線の地中化を実現してほしい。
とても活気があって、牛久シャトーが好きなのでイベントを楽しみにしています。
治安の良い安心な暮らしができること。
子育て環境の充実(公園の遊具を増やしてほしいです。)(多子世帯の負担軽減を長子年齢小3から引き上げて欲しいです。)
よろしく願いいたします
出産をひかえていて、出産後、保育園を希望しているので、入りたい保育園に無事を入れて、仕事復帰出来たら良いなと思っています。
図書館や文化施設の充実を期待します。デパートがない。エスカードもさびれてしまったし…。駅ビルにアトレくらいほしい。羽田までのリムジンバスを出してほしい。(出張が多いので)

② 転出

駅前の活気のなさに寂しさがある
全体的に住みやすく、20年間住みましたが、良い町だったと思います。高齢者向きの住宅がない
寮
子育てしやすくてよかったです。
5年住んでいたが市長が変わって、町が綺麗になったと思います。歩いていると声をかけてくれるおじいちゃんおばあちゃん存在がありがたかったです。子どもを産んで育てる環境が整っていました。お世話になりました。
バス料金がもっと安いと嬉しい
道路のアスファルトの破損がひどいです。クリーンセンターはとても助かります。
とても住みやすく、茨城に来たらまた住みたい。
牛久市は住みやすくて好きでした。
急激に人口が増えているので、治安の悪化が心配です。おまわりさんをたくさん増やして下さい。車を使わなくても、移動しやすい街づくりに期待します！！(無料バスや低価格の乗り合い交通機関の整備)
街並みがきれいで、病院も多く住みやすい所でした。独身者にとって、外食出来るお店が沢山あると嬉しいです。少ないですね。
駅前や駅内の娯楽施設を増やしてほしい
住みやすく良い街だった
比較的住みやすい地域だったと思います。
終電までバスがあるとよい。終電がもうすこし遅くまで通っていると転出しにくいですむ。
福利厚生が充実した市になってほしい。

日本人のための町づくりをお願いします。
かっぱ号の便数を1時間にせめて2本ほどに増やしてほしい。今の本数では使えない。また、通勤ライナーのひたち野うしく駅の便を作って欲しい。
長い間ありがとうございました。
牛久駅前ロータリー改修は景観的にもすばらしく、雑誌等にも取り上げられていたかと思います。普通に作るよりも金はかかるかと思いますが、市の魅力にもなるかと思うので今後も期待しております。
駅前がもう少し盛り上がると嬉しい。介護申請がもう少し早くおこなうこと。介護予防環境の充実。
住みやすいところでした。
住みやすい市でした。
市役所、保健センターの方がとても親切に対応して下さいだったので、安心できました。
ごみの袋をとってつきだとよいかと…
バスをもっと増やしてほしい。ひたち野うしく駅にコンビニやカフェがほしい。
せっかく駅ビル(エスカード)があるのにあまり有効活用されていないように思えるので、もっと活性化してほしい。
会社都合
交通マナーが悪すぎる。もっと取り締まりを強化してほしい。
団地の中の側溝のフタをはやくしてほしい。すると聞かされてるが一部しかおわっていない。
総合病院(愛和、セントラル以外)がもっとあっても良いような気がします。
牛久市はとても住みやすく便利でした。
中学校にバドミントン部を作ってほしい・児童クラブの休みの日、祝日、台風で急校の時に預けられる場所を作ってほしい。
色々な場所にお店があるので便利で住みやすかったです。
駅前の渋滞を解消してほしい
牛久市はとても住みやすいところでした。通勤しなければずっと住んでいたい場所です。どうもありがとうございました。
ゴミの回収等も非常に分かりやすく利用しやすかったです。クリーンセンターも50kgまで無料なのは有難かったです。ひたち野うしく駅の西の交差点に信号を設置していただけると。
牛久市に転入して短い間でしたが、自然環境がよく、くらしやすかったです。イベント等も多く、たくさん参加させてもらいました。
子育て支援センターが何カ所もあり、正直引越したくないと思うほど良く、好きな牛久市でした。
シングルマザーにはとてもきびしい市だと思いました。市営住宅も入れない状況は長く住んでいられない。
落ち着いていて、ベッドタウンとしてよい町でした。古くからの商いをしてらっしゃる方が多いので、そういった方々の庭などを見られるのも良かった。新しいものに流されず、既存の文化を残していただきたいです。
お世話になった三中の先生方、生徒さん、市役所の皆様、みなさんがやさしく、親切に暖かく迎えて下さったことに感謝申し上げます。これも市民の方が幸せに暮らせる環境が牛久にあるからではと思っています。一年間あるからではと思っています。一年間ありがとうございました。
良い運動施設が充実していた(牛久運動公園等)、悪い学校が少ない。牛久シャトーが近い。
ひたち野うしくはとてもキレイで便利な町なのでさらに魅力を発信してほしいです。
牛久市は出産や子育てに手厚いので転出はしなかったが、主人の東京通勤によりTXで通う為、やむなくつくば市へ。ステキな市でした。
特別大きな不満はなく、住みやすい地域だったと思います。
牛久はもっと食べ物をアピールすると良いと思います。イモまんをもっと出しましょう。
奥原町などの奥野地区に街灯がもっとたくさんあるといいと思います。暗いのでもう少し明るい運動もしやすいです。
牛久駅ロータリーも新しくなり、活気があふれていて、いい場所になったと思います。実家に帰ってきたいと思うような町、牛久市でこれからもあって欲しいと思います。

市のおまつりやイベントによく参加させていただきました。住みやすかったです。
駅周辺の発展
子育て広場がとても利用しやすかったです。ありがとうございました。
公園を増やして欲しい
ひたち野うしくは住みやすいと思います。人口が増えていると思うので、もり上げてほしい。
クリーンセンターを17:00まで利用できるのもっと助かりました。
住みやすかった。
住みやすい所でした。
これからも優しい牛久市でいて下さい。今までありがとうございました。
常磐快速の取手止まりの延伸。上野からの終電時刻の繰り下げ。
良かったです。
子供達は、生まれてから牛久市に住んでいたのだから「ふるさと」と感じているみたいです。成人したら、また牛久市に住みたいらしいです。本人が望む仕事があるといいなあと思います。
子どもの生まれた際の記念品のアルバムは不要。使わずにゴミになりました。とても子育てしやすい環境で大変助かりました。引っ越しが残念です。
南近辺では空家が増えてきたり、住民の高齢化が進んでいまいぶ落ち着いてしまっています。いろいろな世代が共存できる町になるといいなと思います。
他県の知人はほとんど牛久市を知らないのもっと魅力等をアピールすべきだと思う(牛久大仏・シャトーなどいろいろあるのに知られていない)
稀勢の里を応援してほしい。
バス等交通の充実、牛久駅前周辺の生活施設の充実
バス路線の充実(つくば市との連携など)
産業分野の発展に力をそいでほしい。
駅前、市街地の活性化
住みやすく良い所でした。
かっぱ号の利便性をさらに向上してほしい。増便などを。
冬季の牛久駅前のイルミネーションは良かったです。観光資源としてシャトーをもっと前面に出して良いかも。エスカードに、もっと学生(高校生)向けのテナントを入れると、若い人の動脈が生まれ活気が生まれると思う。
とても住みよく子育てには最高の市でした。
運転者のマナーがひどすぎる。他人を気にしなさすぎ。ほとんど全員、話にならない最低。土浦ナンバー、水戸ナンバー、つくばナンバーは他県と比べてもひどい。
高齢者向きの住宅がない
駅周辺の活性化
治安があまり良くない。自家用車の盗難未遂にありましたが、いまだに容疑者情報等ありません。

Ⅲ. 調査結果

(詳細集計)

1 近隣市町村間の移動（原因者数ベース）

- ・ 県内市町村間移動上位4市町の移動理由および移動先を選んだ理由を集計。
- ・ 移動理由は、転入転出ともに「結婚」と「その他」と「就職」が上位である。
- ・ 移動先を選んだ理由では、転入転出ともに「学校・職場などが近い」、「住宅（購入・賃貸）の条件が良かった」が上位である。

	移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	移動先選択理由	子供が育てやすい	教育や文化的な環境が良い	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明	
																																						つくば市
人数（人）	転入前	つくば市	5	1	1	0	5	1	0	0	0	1	5	1	0	0	3	6	1	6	1	つくば市	2	1	10	1	0	8	4	7	3	2	6	12	0	0	3	0
		龍ヶ崎市	0	1	2	0	5	2	0	0	0	0	4	1	0	0	2	0	0	2	0	龍ヶ崎市	0	2	5	1	1	5	1	5	2	1	4	6	1	0	1	0
		土浦市	1	1	0	0	3	2	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	3	1	0	土浦市	2	0	5	1	0	1	1	4	0	0	1	4	0	1	3	0
		水戸市	4	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	水戸市	0	1	6	0	0	0	0	3	0	1	2	2	0	0	2	0
	転出後	つくば市	3	0	4	0	10	1	0	1	0	0	4	2	3	1	1	4	3	4	3	つくば市	2	5	19	0	0	2	4	8	6	4	2	7	0	3	4	0
		龍ヶ崎市	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	0	18	0	龍ヶ崎市	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	13	0
		土浦市	4	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	3	0	土浦市	0	0	9	0	0	0	1	0	0	2	0	6	0	0	3	0
		取手市	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	2	1	0	取手市	0	0	3	0	0	3	1	0	2	0	2	2	0	0	1	0
割合（％）	転入前	つくば市	13.5%	2.7%	2.7%	0.0%	13.5%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	13.5%	2.7%	0.0%	0.0%	8.1%	16.2%	2.7%	16.2%	2.7%	つくば市	3.4%	1.7%	16.9%	1.7%	0.0%	13.6%	6.8%	11.9%	5.1%	3.4%	10.2%	20.3%	0.0%	0.0%	5.1%	0.0%
		龍ヶ崎市	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	龍ヶ崎市	0.0%	5.7%	14.3%	2.9%	2.9%	14.3%	2.9%	14.3%	5.7%	2.9%	11.4%	17.1%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%
		土浦市	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	16.7%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	16.7%	5.6%	0.0%	土浦市	8.7%	0.0%	21.7%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	17.4%	0.0%	0.0%	4.3%	17.4%	0.0%	4.3%	13.0%	0.0%
		水戸市	26.7%	0.0%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	水戸市	0.0%	5.9%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	
	転出後	つくば市	6.8%	0.0%	9.1%	0.0%	22.7%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	9.1%	4.5%	6.8%	2.3%	2.3%	9.1%	6.8%	9.1%	6.8%	つくば市	3.0%	7.6%	28.8%	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%	12.1%	9.1%	6.1%	3.0%	10.6%	0.0%	4.5%	6.1%	0.0%
		龍ヶ崎市	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	6.9%	0.0%	6.9%	0.0%	62.1%	0.0%	龍ヶ崎市	0.0%	0.0%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
		土浦市	22.2%	11.1%	5.6%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	16.7%	5.6%	0.0%	16.7%	0.0%	土浦市	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	
		取手市	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	取手市	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%

※各市町村ごとに、理由上位3つを黄色塗りしている

2 就職による県外間移動（原因者数ベース）

① 年代、性別ごと

- ・ 就職による県外間移動を年代と性別でみる。
- ・ 全体をみると、女性よりも男性の移動が多く、県外からの転入では59.3%、県外への転出では51.8%を男性が占める。
- ・ 年代別に見ると、20歳代に集中している。

移動理由 就職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外から 転入	年代別計(人)	7	49	1	0	0	1	0	1	0	59	
	性別	男性	5	28	1	0	0	1	0	0	0	35
		女性	2	21	0	0	0	0	0	1	0	24
		年齢性別不明										
県外へ 転出	年代別計(人)	4	76	1	1	1	1	0	0	1	85	
	性別	男性	3	39	1	0	0	1	0	0	0	44
		女性	1	37	0	1	1	0	0	0	0	40
		年齢性別不明										

移動理由 就職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外から 転入	年代別計(%)	11.9%	83.1%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	8.5%	47.5%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	59.3%
		女性	3.4%	35.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	40.7%
		年齢性別不明										
県外へ 転出	年代別計(%)	4.7%	89.4%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	100.0%	
	性別	男性	3.5%	45.9%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	51.8%
		女性	1.2%	43.5%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%
		年齢性別不明										

② 転入前の地域、転出後の地域

- ・ 県外からの転入者を見ると、男女ともに東京圏が多いが、全国各地からの転入があることが分かる。
- ・ 一方、県外への転出者は男女ともに東京圏に集中している。(男性79.5%、女性85.0%)

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	東北	中部	近畿	九州	四国	中国			計
	人数(人)	13	7	6	4	3	1	1			35
	女性	東京圏※	東北	中部	近畿	九州	北海道				計
	人数(人)	10	3	3	3	3	2				24
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※	中部	近畿	東北	北関東※	九州				計
	人数(人)	35	4	2	1	1	1				44
	女性	東京圏※	北海道	近畿	東北	中部	九州				計
	人数(人)	34	2	1	1	1	1				40

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	東北	中部	近畿	九州	四国	中国			計
	割合(%)	37.1%	20.0%	17.1%	11.4%	8.6%	2.9%	2.9%			100.0%
	女性	東京圏※	東北	中部	近畿	九州	北海道				計
	割合(%)	41.7%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	8.3%				100.0%
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※	近畿	中部	東北	北関東※	九州				計
	割合(%)	79.5%	9.1%	4.5%	2.3%	2.3%	2.3%				100.0%
	女性	東京圏※	北海道	近畿	東北	中部	九州				計
	割合(%)	85.0%	5.0%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%				100.0%

3 転職による転出（原因者数ベース）

① 年代、性別ごと

- ・ 県内への転出9人に対し、県外への転出は40人であり、県外への転出は9人であり4倍以上である。
- ・ 県内・県外の転出ともに男性の割合が高く、県内への転出では55.6%、県外への転出では50.0%が男性である。
- ・ 年代は20歳代と30歳代に集中している。

移動理由 転職	年代	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢不明	年齢性別不明	合計	
県内へ 転出	年代別計(人)	5	3	0	0	0	1	0	9	
	性別	男性	2	2	0	0	0	1	0	5
		女性	3	1	0	0	0	0	0	4
	年齢性別不明								0	
県外へ 転出	年代別計(人)	20	9	6	2	1	0	2	40	
	性別	男性	8	6	3	2	1	0	0	20
		女性	12	3	3	0	0	0	0	18
	年齢性別不明								2	2

移動理由 転職	年代	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢不明	年齢性別不明	合計	
県内へ 転出	年代別計(%)	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	55.6%
		女性	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%
	年齢性別不明								0	
県外へ 転出	年代別計(%)	50.0%	22.5%	15.0%	5.0%	2.5%	0.0%	5.0%	100.0%	
	性別	男性	20.0%	15.0%	7.5%	5.0%	2.5%	0.0%	0.0%	50.0%
		女性	30.0%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%
	年齢性別不明								5.0%	

① 転出後市町村、転出後地域

- ・ 県内への転出先は、特に特徴はない。
- ・ 県外への転出先は、男性・女性ともに東京圏の割合が最も高く、男性においては7割を超えている。

転出後市町村 (県内)	男性	鹿嶋市	古河市	みつくば みらい市	取手市						計
	人数(人)	1	1	1	1						4
	女性	土浦市	阿見町	鹿嶋市							計
	人数(人)	2	1	1							4
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※	北海道	北関東	中部	四国	九州				計
	人数(人)	15	1	1	1	1	1				20
	女性	東京圏※	北関東	北海道	中部	近畿					計
	人数(人)	12	3	1	1	1					18

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転出後市町村 (県内)	男性	鹿嶋市	古河市	みつくば みらい市	取手市						計
	割合(%)	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%						100.0%
	女性	土浦市	阿見町	鹿嶋市							計
	割合(%)	50.0%	25.0%	25.0%							100.0%
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※	北海道	北関東※	中部	中国	九州				計
	割合(%)	75.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%				100.0%
	女性	東京圏※	北関東※	北海道	中部	近畿					計
	割合(%)	66.7%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%					77.8%

4 結婚による移動（原因者数ベース）

(1) 県内間移動

① 年代、性別ごと

- ・ 県内からの転入27人に対し、県内への転出は30人であり、結婚による県内間移動では転出超過である。
- ・ 女性・男性ともに移動数に大きな差はない。
- ・ 年代は、20歳代から30歳代に集中している。

移動理由 結婚	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県内 から 転入	年代別計(人)	0	14	12	0	0	0	1	27	
	性別	男性	0	8	6	0	0	0	0	14
		女性	0	6	6	0	0	0	0	12
		年齢性別不明							1	1
県内 へ 転出	年代別計(人)	0	16	11	3	0	0	0	30	
	性別	男性	0	10	5	0	0	0	0	15
		女性	0	6	6	3	0	0	0	15
		年齢性別不明								0

移動理由 結婚	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県内 から 転入	年代別計(%)	0.0%	51.9%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	29.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.9%
		女性	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%
		年齢性別不明								3.7%
県内 へ 転出	年代別計(%)	0.0%	53.3%	36.7%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		女性	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		年齢性別不明								0.0%

(1) 県内間移動

② 県内、転入前市町村、転出後市町村

- ・ 男性の県内市町村間の結婚による移動は、転入・転出ともにつくば市が最も多い。
- ・ 女性の転入前市町村は、龍ヶ崎市が最も多く、転出後市町村は、つくば市が最も多い。

転入前市町村（県内）	男性	つくば市	みらい市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	石岡市	稲敷市	かすみ市	筑西市	計
	人数(人)	3	2	2	2	1	1	1	1	1	14
女性	龍ヶ崎市	つくば市	守谷市	阿見町	稲敷市	笠間市	河内町	土浦市			計
	人数(人)	3	2	2	1	1	1	1	1		12
転出後市町村（県内）	男性	つくば市	取手市	石岡市	稲敷市	笠間市	土浦市	守谷市	龍ヶ崎市		計
	人数(人)	6	3	1	1	1	1	1	1		15
女性	つくば市	神栖市	土浦市	龍ヶ崎市	鹿嶋市	古河市	つくばみらい市	取手市	なかたち		計
	人数(人)	4	2	2	2	1	1	1	1		15

転入前市町村（県内）	男性	つくば市	みらい市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	石岡市	稲敷市	かすみ市	筑西市	計
	割合(%)	21.4%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	100.0%
女性	龍ヶ崎市	つくば市	守谷市	阿見町	稲敷市	笠間市	河内町	土浦市			計
	割合(%)	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%		100.0%
転出後市町村（県内）	男性	つくば市	取手市	石岡市	稲敷市	笠間市	土浦市	守谷市	龍ヶ崎市		計
	割合(%)	40.0%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%		100.0%
女性	つくば市	神栖市	土浦市	龍ヶ崎市	鹿嶋市	古河市	つくばみらい市	取手市	なかたち		計
	割合(%)	26.7%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%		100.0%

(2) 県外間移動

① 年代、性別ごと

- ・ 県内からの転入は12人に対し、県内への転出は30人であり、結婚による県外間移動においても転出超過である。
- ・ 男性・女性ともに移動数は、県外・県内問わず同数である。
- ・ 年代は、20歳代から30歳代に集中しており、特に20歳代男性の割合が高い。

移動理由 結婚	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外から 転入	年代別計(人)	0	5	5	0	1	1	0	0	12	
	性別	男性	0	1	3	0	1	1	0	0	6
		女性	0	4	2	0	0	0	0	0	6
		年齢性別不明									0
県外へ 転出	年代別計(人)	0	16	11	3	0	0	0	0	30	
	性別	男性	0	10	5	0	0	0	0	0	15
		女性	0	6	6	3	0	0	0	0	15
		年齢性別不明									0

移動理由 結婚	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外から 転入	年代別計(%)	0.0%	41.7%	41.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	50.0%
		女性	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		年齢性別不明									0.0%
県外へ 転出	年代別計(%)	0.0%	53.3%	36.7%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		女性	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		年齢性別不明									

(2) 県外間移動

② 県内、転入前市町村、転出後市町村

- ・ 県外間の結婚による移動は、男女問わず転入・転出共に東京圏が中心となっている。
- ・ 転入・転出ともに東京圏の割合が高いが、特に転出において、男女ともに東京圏が高い。

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	北関東※	中部				計
	人数(人)	4	1	1				6
	女性	東京圏※	北海道	東北				計
	人数(人)	4	1	1				6
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※						計
	人数(人)	5						5
	女性	東京圏※	近畿	九州				計
	人数(人)	12	1	1				14

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	北関東※	中部				計
	割合(%)	66.7%	16.7%	16.7%				100.0%
	女性	東京圏※	北海道	東北				計
	割合(%)	66.7%	16.7%	16.7%				100.0%
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※						計
	割合(%)	100.0%						100.0%
	女性	東京圏※	近畿	九州				計
	割合(%)	85.7%	7.1%	7.1%				100.0%

5 住宅購入による県内間移動（原因者数ベース）

- 住宅購入による県内間移動の状況を見ると、近隣市町間の転入・転出の割合が高い。
- 新築・中古別にみると、転出・転出共に新築購入者数の方が多い。

県内から転入	市町村	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	取手市	阿見町	稲敷市	その他	計
	住宅購入	6	5	1	1	2	2	5	22
	うち新築	5	4	1	1	1	1	2	15
	うち中古	1	1	0	0	1	1	3	7

県内から転入	市町村	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	取手市	阿見町	稲敷市	その他	計
	住宅購入	27.3%	22.7%	4.5%	4.5%	9.1%	9.1%	22.7%	100.0%
	うち新築	22.7%	18.2%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	9.1%	68.2%
	うち中古	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	13.6%	31.8%

県内へ転出	市町村	つくば市	取手市	守谷市	龍ヶ崎市	石岡市	下妻市	その他	計
	住宅購入	6	3	2	1	1	1	0	14
	うち新築	4	1	1	1	1	0	0	8
	うち中古	2	2	1	0	0	1	0	6

県内へ転出	市町村	つくば市	取手市	守谷市	龍ヶ崎市	石岡市	下妻市	その他	計
	住宅購入	42.9%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	100.0%
	うち新築	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	57.1%
	うち中古	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	42.9%

6 中古住宅購入による転入（原因者数ベース）

- ・年代をみると、40歳代が最も多いが、幅広い年代の転入がある。
- ・世帯主の職業は〔市外勤務の会社員〕が最も多く、〔市内勤務の会社員〕・〔会社役員〕が続く。
- ・転入する地区をみると、〔南〕が多く、旧市街地への転入も多いため、中古住宅が広い地域で購入されていることが分かる。

転入後の家族構成	年齢不明						
	合計 (人)	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳
合計	7	1	1	2	1	1	0
一人暮らし	1	0	0	0	1	0	0
親と独身の子が同居	1	0	1	0	0	0	0
夫婦が同居	0	0	0	0	0	0	0
夫婦と子どもが同居	2	1	0	1	0	0	0
ひとり親と子どもが同居	1	0	0	1	0	0	0
親と子ども夫婦、孫が同居	0	0	0	0	0	0	0
親と独身の子、孫が同居	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0
無回答・不明	0	0	0	0	0	1	0

世帯主の職業	年齢不明						
	合計 (人)	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳
合計	7	1	1	2	1	1	0
会社員(市内勤務)	1	1	0	0	0	0	0
会社員(市外勤務)	4	0	1	2	0	0	1
会社役員	1	0	0	0	1	0	0
公務員・団体職員	0	0	0	0	0	0	0
自営業	0	0	0	0	0	0	0
派遣・契約社員	0	0	0	0	0	0	0
パート・アルバイト	0	0	0	0	0	0	0
主婦	0	0	0	0	0	0	0
無職	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
無回答・不明	1	0	0	0	0	1	0

転入する地区	年齢不明						
	合計 (人)	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳
合計	7	1	1	2	1	1	0
刈谷町	1	1	0	0	0	0	0
田宮町	1	0	0	0	0	0	1
ひたち野東	1	0	0	1	0	0	0
南	2	0	1	0	1	0	0
小坂町	1	0	0	1	0	0	0
無回答・不明	1	0	0	0	0	0	0

7 親との同居・近居による転入（原因者数ベース）

(1) 転入理由（親との同居・近居）

- ・親との同居・近居による転入者の年代をみると、20・40歳代の割合が最も高い。
- ・移動後の世帯構成をみると、「親と独身の子が同居」・「親と子ども夫婦、孫が同居」・「その他」の割合が最も高い。
- ・転入地区を転入者全体と比較すると、新市街地への転入の割合が低く、旧市街地への転入の割合が高いことがわかる。

年代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	年齢 不明	合計
人数(人)	0	0	4	1	4	2	1	0	1	0	0	13
割合(%)	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%

移動後の世帯構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	子どもが親とひとり親と同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	1	3	0	1	0	3	2	3	0	13
割合(%)	7.7%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	23.1%	15.4%	23.1%	0.0%	100.0%

転入地区	田宮	岡見町	ひたち野西	ひたち野東	上柏田	中央	南	神谷	さくら台	合計	
	同居+近居	人数(人)	1	2	1	2	2	2	1	1	13
	割合(%)	7.7%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	100.0%	
転入者全体※	人数(人)	19	4	42	44	31	27	31	15	16	229
	割合(%)	4.6%	1.0%	10.2%	10.7%	7.5%	6.6%	7.5%	3.6%	3.9%	55.7%

※各地区に転入した原因者数/アンケート回答数(転入者分)×100、「同居」または「近居」と回答のあった地区のみを抽出しており、合計は100%とならない

(2) 転入先選択理由（親兄弟が近くにいる）

- ・牛久市に転入した理由（単一回答）として〔親と同居・近居〕と回答した人数は11人で、転入者全体の2.7%。
- ・転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）として〔親兄弟が近くにいる〕ことと回答した人数は60人で、転入者全体の14.6%。
- ・〔親兄弟が近くにいる〕と回答した60人の転入した理由（単一回答）をみると、〔転職〕の他、〔両親等との同居〕や〔離婚〕、〔住宅の購入（新築）〕が上位にある。
- ・例えば結婚を機に親との同居や近居をした場合、結婚が主たる転入理由となり、単一回答の設問では、「両親等との同居・近居」13人(3.2%)よりも多いと考えられる。

●牛久市に転入した理由（単一回答）

移動理由	転勤	就職	結婚	転職（転業）	その他	住宅購入（新築）	家族からの独立	離婚	両親等との同居	生活の利便性	退職（廃業）	住宅購入（中古）	交通の利便性	就学	帰郷	無回答・不明	卒業	両親等との近居	縁組	合計
人数(人)	110	86	41	36	28	19	14	12	11	11	9	7	7	6	6	4	2	2	0	411
割合(%)	26.8%	20.9%	10.0%	8.8%	6.8%	4.6%	3.4%	2.9%	2.7%	2.7%	2.2%	1.7%	1.7%	1.5%	1.5%	1.0%	0.5%	0.5%	0.0%	100.0%

●転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）

移動先選択理由	学校・職場などが近い	住宅（購入・賃貸）の条件がよかった	買い物に便利である	親兄弟が近くにいる	公共交通が便利である	その他	友人・知人が近くに	道路交通網が便利である	自然環境がよい	子どもが育てやすい	治安がよい	教育や文化的な環境がよい	医療が充実している	まちに活気がある	福祉が充実している	無回答・不明	合計
人数(人)	148	77	66	60	54	54	32	30	20	14	14	7	6	4	2	1	589
割合(%)	36.0%	18.7%	16.1%	14.6%	13.1%	13.1%	7.8%	7.3%	4.9%	3.4%	3.4%	1.7%	1.5%	1.0%	0.5%	0.2%	※

※複数回答であり、合計は100%とはならない

●「親兄弟が近くにいる」ことと回答した人の転入した理由（単一回答）

移動理由	転職（転業）	両親等との同居	離婚	住宅購入（新築）	転勤	結婚	就職	帰郷	交通の利便性	その他	退職（廃業）	両親等との近居	就学	卒業	生活の利便性	縁組	住宅購入（中古）	家族からの独立	無回答・不明	合計
人数(人)	9	9	8	6	5	4	3	3	3	3	2	2	1	1	1	0	0	0	0	60
割合(%)	15.0%	15.0%	13.3%	10.0%	8.3%	6.7%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	3.3%	3.3%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%